

**DEUTSCH — LEICHT ZU VERSTEHEN  
UND INTERESSANT**







はじめての人にピッタリの学習法

# ドイツ語が 面白いほど 身につく本

アーベーツェー  
ABCから日常会話まで

岩井清治 中野久夫

中経出版



## ◎はじめに

# ドイツ語は堅くもないし難しくもありません

## ★これがドイツ語をやさしく学ぶ2つのコツです

読者の皆さんには、ドイツ語についてどんなイメージをお持ちですか。堅くてユーモアに欠けるというのがヨーロッパ人のドイツ人評だそうですが、言葉のほうもやたらと規則に忠実で理屈っぽいというイメージが強いのではないでしょうか。

この本はそんな堅いイメージを刷新し、とにかくやさしくドイツ語が学べるように工夫しました。ドイツ人の中にも、ユーモアたっぷりのイギリス人に負けないほど機知に富んだ人がたくさんいます。当然のことですが、ドイツ語にもよく使われるやさしい、くだけた表現があります。まず最初にこれらを暗記してしまうことです。文法はそのあとで納得できればよいと考えてください。その意味で、文法の説明はできるだけ簡略にしてあります。それがドイツ語をやさしく学ぶ第1のコツです。

この本の第2の特徴は、構文や表現をたくさんおぼえようとして結局すべてうろおぼえになるよりも、重要な文だけを確実に暗記して、実践に役立つドイツ語をマスターできるような構成になっていることです。日本語訳と同時にドイツ語の表現が自然に口から出てくるようになるには、毎日の繰り返しが大切です。1つの表現を暗記して実際に

使えるようにするために、その表現を100回繰り返して言うことと、その表現を毎日1回口に出して練習する、それを1カ月続けることが必要です。それが続けば、その表現は忘れようと思っても忘れられない財産としてあなたの身につくのです。そうやってドイツ語の実力を確実に高めていきましょう。

### ★大丈夫、カタカナ発音で十分通じます

ネイティヴが話すドイツ語、とりわけ女性の発音は、非常にきれいに素直に聞こえます。しかし、外国人である日本人の発音には自ずと限界があります。

これは、仕方のないこととあきらめて、発音練習の時間を暗記のための口頭練習に振りかえるほうが得策です。しっかり暗記できているものは大声で発音できます。相手に通じないとなげく人がよくいますが、実は声が小さいという場合が多いのです。声が小さくては日本語でも通じませんよ。

### ★ドイツ語に親しみ、ドイツの社会に親しみましょう

強いマルクを持つドイツ語圏と、同じく強い円を持つ日本語圏は今や世界経済の二大勢力にまで成長しました。両国の相互交流は、これから一層促進されることはあるとしても、衰えることはありません。マイスターに支えられている技術、整然とした住宅と街並み、少ない労働時間と長い休暇、職住接近した環境、いっせいに守られる閉店時間等々、ド

## この本と別売カセットの使い方

はじめてドイツ語を勉強する人は、最初から読んでください。「魚」は英語で fish, ドイツ語では Fisch, “This is a book.” は “Das ist ein Buch.”。ドイツ語と英語は単語も構文もよく似ています。この本の中には英語もたくさん添えてありますので、比較しながらドイツ語をあほえていってください。

また外国語学習には、ネイティヴの発音に親しむことが必要です。本書に出てくる単語や構文をドイツ人が吹き込んだカセットが、別売されています。繰り返し聞いて、英語の発音との違いを習得してください。

大学でドイツ語を選択したけれども単位が心配、という学生さんは、3章の「文法の基礎を身につけよう」と5章の「やさしい文章に挑戦しよう」をしつかり読み、カセットで聞いてください。

本書のユニークな点は、4章の「簡単な会話をマスターしよう」の部分が“レストランでは”，“ホテルのフロントでは”といった状況別にまとめられていて、ドイツ人との会話に明日からでも役に立つことです。会話を身につけたい方は、入門書と会話手帳がいつしょになった本書を、ぜひ試してみてください。短期間でドイツ語の実力がつくこと、請合いです。

## ●目次

はじめに／ドイツ語は堅くもないし難しくもありません	1
この本と別売カセットの使い方	4

## 1 発音の仕方を学ぼう ..... 11

### 基礎編 1 発音の仕方の基本原則 ..... 12

発音は大部分がローマ字方式	12
ドイツ語らしい発音のポイント	14
-ch, -sch, -tsch 等の発音	15
鼻にかかるngの発音	17
rは舌先を震わせて発音	18
2種類の発音を持つ語：e, i, o, u	19
のばして読む音	21
変田音の発音	22
特殊な発音：au, ei, eu, äu	23
そのほか注意すべき発音	24

### 基礎編 2 アルファベット (Das Alphabet) ..... 26

アルファベットは26文字	26
--------------	----

## 2 基本単語をおぼえよう ..... 29

### 基礎編 3 まずはドイツ語に慣れよう ..... 30

Universitätに通うK君	30
------------------	----

Ausland に来た Anna .....	32
Anna は glücklich ではない .....	34
Anna の故郷は Schweiz .....	36
Anna の Arbeit .....	38
K君が書くドイツ語の Brief .....	40
Anna とその Vater .....	42
<b>基礎編 4 すぐに役立つ単語をあほえよう .....</b>	<b>44</b>
国・国民 (ドイツ, ドイツ人 etc) .....	44
言葉 (ドイツ語, 英語 etc) .....	46
親族名 (両親, 父 etc) .....	47
形容詞 (大きい, 小さい etc) .....	49
動詞 (あいさつする etc) .....	51
自然に関する単語 (星, 山 etc) .....	54
身体に関する単語 (腕, 足 etc) .....	56
家の周辺の単語 (屋根, 庭 etc) .....	58
部屋の中の単語 (机, いす etc) .....	60

### 3 文法の基礎を身につけよう .....

<b>基礎編 5 名詞・動詞・形容詞・前置詞の用法 .....</b>	<b>64</b>
1 英語と関連づけてドイツ語を学ぼう .....	64
2 人称代名詞の変化 .....	67
3 名詞にはすべて性がある .....	71
4 名詞は格変化する .....	74
5 動詞の人称変化 .....	79
6 形容詞にも性・数・格がある .....	83
7 前置詞の格支配 .....	89
8 これまでのまとめをしよう .....	94
9 疑問代名詞 was と wer .....	98

10 関係代名詞 der と was .....	103
11 話法の助動詞 .....	107
<b>基礎編 6 動詞の過去・未来・受動・完了を学ぼう</b> .....	<b>111</b>
12 動詞の過去形 .....	111
13 過去分詞 .....	115
14 未来形と受動態をつくる werden .....	117
15 現在完了 .....	121
16 過去完了 .....	126
17 未来完了 .....	129
18 再帰動詞 .....	132
19 非人称動詞 .....	135
20 分離動詞 .....	137
21 数字の読み方 .....	140

## 4 簡単な会話をマスターしよう .....

<b>実用編 1 旅行もホームステイもまずこれから</b> .....	<b>146</b>
会話の基本となる言葉 .....	146
会話の基本となる表現 .....	148
レストランで .....	151
街角で .....	155
駅の窓口で .....	158
デパートなどの店内で .....	160
ホテルのフロントで .....	163
ビジネス上の表現 .....	166

## 5 やさしい文章に挑戦しよう ..... 169

### 実用編 2 ドイツ語の勘を養っていこう ..... 170

彼は日本人ですか	171
いま彼はドイツ語を学んでいます	171
すばらしいクリスマスと幸福な新年を	172
よい本はよい友である	172
その年老いたヘルガ嬢は少し近視です	172
スイス人はたいてい、ドイツ語だけでなく フランス語も話します	173
お邪魔になりますか	174
私のクラスに今週新しい先生が来ます	174
毎日曜日の11時にブラウン氏は彼の庭へ行き, その草の上の青い椅子に座ります	175
今日は、市場では何があるのですか	176
私たちはすでに300のドイツ語の単語を知っています	176
以前はそこに何が建っていたんですか？	178
クラウスはサラリーマンです	178
工業技術は人間をこの地球の主人にしましたが, それは人間を機械の奴隸にもしたのです	179
あなたがドイツにいたときに、何を研究されましたか	180
テロリストたちがフランクフルトを爆撃した	180
誰といつしょに行ったのですか	181
彼は来年イススヘ行くでしょう	181
明日には私の手紙は、おじのもとに届いているでしょう	182
私がようやく駅についたときには, 汽車はもう出てしまっていました	182
生きているすべてのものは、一度は死ななければなりません	183
この小説は英語で書かれ、ドイツで出版されました	183

妻が重く病んでいるその男は、彼女を病院に訪ねます	184
彼は毎朝窓を開けます	185
どうぞ私に紅茶を1杯もってきてください	185
私は紅茶を1杯もってこい！	186
つぎのハンブルク行きの汽車がいつ発車するのか、 知りたいのです	187
これでいかがでしようか	189
これがいいです	189

## おぼえたことを再確認！

練習問題1	66	練習問題11	110
練習問題2	70	練習問題12	114
練習問題3	73	練習問題13	116
練習問題4	78	練習問題14	120
練習問題5	81	練習問題15	125
練習問題6	88	練習問題16	128
練習問題7	93	練習問題17	131
練習問題8	97	練習問題18	134
練習問題9	102	練習問題19	136
練習問題10	106	練習問題20	139

カバーデザイン／佐藤 幹  
本文イラスト／成田初男



# 1

## 発音の仕方を学ぼう

ドイツ語の発音は、英語の **neighbor** (ネイバア・隣人) や **dozen** (ダズン・1ダース) といった面倒なものにくらべると、はるかに規則的です。

しかし、文字を見てそれがきちんと発音できるようになるためには、いくつかの規則をおぼえることが必要です。この章ではそうしたドイツ語の発音のきまりを学んでいきます。



## 発音は大部分がローマ字方式

まず最初にドイツ語の発音の基本を学びましょう。

ドイツ語の単語は、大部分がアルファベットそのままに発音されます。日常でもよく使われる身近な単語を例に挙げて説明していきましょう。なお、ドイツ語の名詞は文中でも大文字で始まる規則ですので、英語よりも意味がとりやすいと言えます。

たとえば、綴りが英語と同じ **Finger** (指) は、「フィンガア」と発音します。この場合 -er は「エル」ではなく、軽く「ア」と発音するのです。本書では強く発音する部分を「**フィ**」のように太字で示すことにします。

これも英語と同じ綴りで自己紹介には欠かせない単語 **Name** (名前) は、英語のように「ネイム」とは発音しないで、ローマ字どおりに「ナーメ」と発音します。

ドイツ人のいこいの場である **Park** (公園) は「パーク」ではなく、「パルク」というように、-r が「ル」の発音になります。

英語とは微妙に綴りの異なる **Onkel** (おじ)、この「オンケル」の「ケ」は、Name の「メ」と同様、軽く発音します。発音記号は [óŋkel], [ná:me] でなく、[óŋkəl], [ná:mə] になります。

また、「フィンガア」、「ナーメ」、「パルク」、「オンケル」とも、いずれも第1音節の「フィ」、「ナ」、「パ」、「オ」が強く発音されます。このようにドイツ語のアクセントは原則として第1音節にあります。

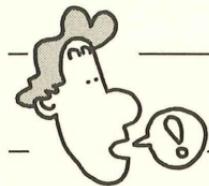
ちなみに、上の単語を発音記号で示すと以下のようになります。

**Finger** [fíŋgər] ← フィンガア

**Name** [náxmə] ← ナーメ

**Park** [park] ← パルク

**Onkel** [óŋkəl] ← オンケル



## ドイツ語らしい発音のポイント

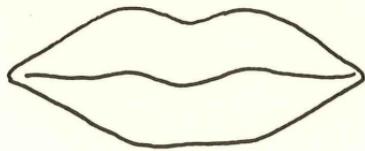
お菓子としておなじみの **Baumkuchen** (バウムクーヘン) の Baum は木という意味で、「バオム」と読みます。

ここで注意しなければならないことは、Baum の m が mu ではなくて m, つまり子音であることです。

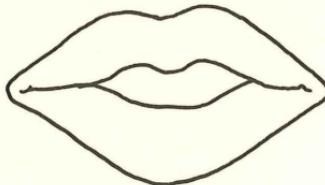
ドイツ語だけでなく英語、フランス語でも同じことです  
が、m は ma (マ) · mi (ミ) · mu (ム) · me (メ) · mo (モ)  
から a · i · u · e · o をのぞいた音と意識して発音するとよ  
いでしょう。

この発音の仕方に注意しただけでも、かなり外国人らし  
い発音に近づきます。

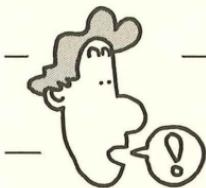
### m の発音の仕方



### mu の発音の仕方



mu のときは m のときよりも上唇も下唇も丸くなるの  
で要注意！



## -ch, -sch, -tsch 等の発音

ドイツ語の発音は大変規則的で、あるきまりさえおぼえてしまえば、ごく簡単に読めるものです。ここではドイツ語の発音の基礎の基礎的なきまりを、英語の発音と対比して項目ごとに説明していきます。

### 1 sch (シュ) の発音

fish (英・魚) → **Fisch** [ フィッシュ, fiʃ ]

Fisch のほかに、**sch** [ʃ] の発音を持つ単語をいくつか挙げると、

**Schule** (シューレ, ʃu:lə, 学校)

**Schein** (シャイン, ʃain, 輝き)

**Schönheit** (シェーンハイト, ʃø:nheit, 美)

### 2 -tion (ツィオーン) の発音

nation (英・国民) → **Nation** (ナツィオーン, natsiō:n)

### 3 j (ヤ行) の発音

j は「ジ」ではなくて、「ヤ行」の発音になります。

Japan (英・日本) → **Japan** (ヤーパン, já:pan)

### 4 a, o, u, au のあとに来的 -ch の発音

a, o, u, au のあとに来的 **ch** は「ハ・フ・ホ」等と発

音します。これは、日本語よりも強い、のどから出す摩擦音です。たとえば、

**Nacht** (ナハト, naxt, 夜)

**Loch** (ロッホ, lɔx, 穴)

**Buch** (ブーフ, bu:x, 本)

**auch** (アオホ, aux, また)

## 5 a, o, u, au のあと以外は -ch (ヒ) の発音

英語では -ch は teach(ティーチ, 教える)や church(チャーチ, 教会) のように、「チ」と発音しますが、ドイツ語では a, o, u, au のあと以外の **-ch** はすべて「ヒ」と発音します。

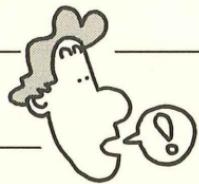
church (英) → **Kirche** (キルヒエ, kírçə)

## 6 -tsch (チ) の発音

ch (ヒ) に s を加えると sch (シ) になり、さらに t を加えると tsch (チ) になります。ch (ヒ) → sch (シ) → tsch (チ) とおぼえてください。ただし、tsch がつく単語はそうたくさんはありません。つぎのようなものだけです。

**Deutsch** (ドイチュ, dɔytʃ, ドイツ語)

**Tschechoslowakei** (チエヒョスロヴァカイ, tʃɛcoslovákai, チェコスロヴァキア)



## 鼻にかかる ng の発音

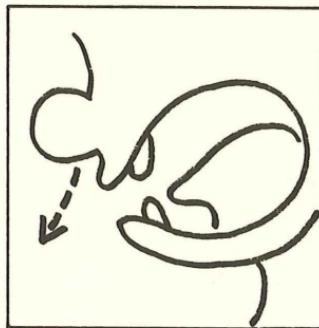
**ng** は、英語の good の「グ」ではなく、king の「グ」に近い発音になります。

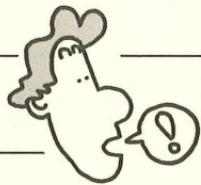
**Anfang** (アンファング, ánfaj, 始まり)

**Angst** (アングスト, aŋst, 不安)

この音を発音する場合、下の図のよう、呼気が鼻に抜けます。

[ŋ] の発音の仕方





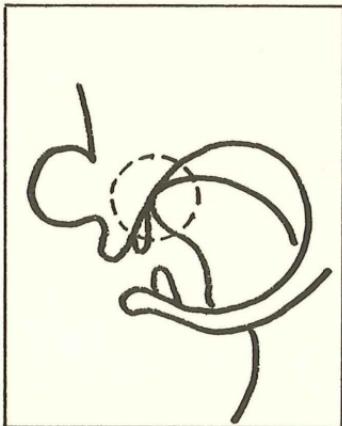
## [r] は舌先を震わせて発音

[r] は [r] の発音記号で示し、舌先を歯ぐきに当てて震わせ、英語の r よりも少し強く発音します。この [r] のほかに [R] の記号を用いることもあります。のどびこを震わせて出す音を示します。これはハやホに近い音になります。しかし、この音はドイツ人固有の発音で、一般には [r] と [R] の区別はされていません。

**Regen** (レーゲン, ré:gən, 雨)

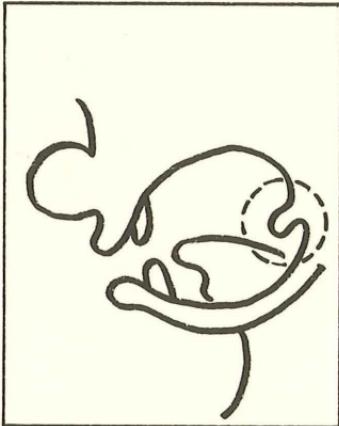
**rot** (ロート, ro:t または Rot, 赤い)

[r] の発音の仕方

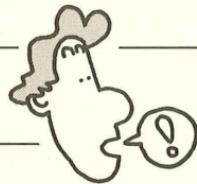


舌先を歯ぐきにあてて  
震わせる

[R] の発音の仕方



のどびこを震わせる



## 2 種類の発音を持つ語 : e, i, o, u

### 1 e (e:, エー) と e (ɛ, エ)

[e:] は、唇の両はしを左右にひつぱり、「イ」に近い「エ」を発音します。

**Ehre** (エーレ, é:rə, 名誉)

**geben** (ゲーベン, gē:bən)

[ɛ] は上の [e:] よりも口をタテの方向に開いて、日本語の「エ」に近い発音をします。

**essen** (エッセン, ɛsən, 食事をする)

**Element** (エレメント, elemént, 要素)

この Element はラテン語からの外来語です。外来語にはアクセントが第1音節にないものが、多く見られます。

### 2 i (i:, イー) と i (ɪ, イ)

[i:] は「イー」を、唇の両はしを左右に強くひつぱって発音します。

**Tiger** (ティーガア, tí:gər, 虎)

**Sie** (ズィー, zi:, あなた)

ie は「イエ」でなく「イー」と発音します。

[ɪ] は日本語の「イ」と似た発音です。

**Fisch** (フィッシュ, fɪʃ, 魚)

### 3 o (o:, オー) と o (ɔ, オ)

[o:] は口を丸くし、唇を突き出して「オー」と発音します。

**Brot** (ブロート, bro:t, パン)

**Ton** (トーン, tɔ:n, 音調)

[ɔ] は口を小さく開いて、「オ」と発音します。

**Folge** (フォルゲ, fɔlgə, 結果)

**Form** (フォルム, form, 形)

### 4 u (u:, ウー) と u (U, ウ)

[u:] は、口を突き出して「ウー」と発音します。

**gut** (グート, gu:t, よい)

**suchen** (ズーヘン, zú:xən, さがす)

[U] は「ウ」を、[u:] よりももっと口を開いて発音します。

**Gunst** (グンスト, gunst, 好意)

**Hunger** (フンガア, hunjər, 空腹)



## のばして読む音

### 1 ie (i:) と母音+h

**Liebe** (リーベ, lí:bə, 愛)

**Ehre** (エーレ, é:rə, 名誉)

**gehen** (ゲーエン, gé:ən, 行く)

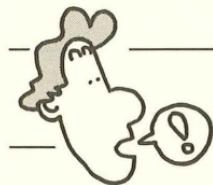
### 2 母音が重なった場合： aa, ee, oo

**Haar** (haar, ha:r, 髪)

**leer** (レーア, le:r, からっぽの)

**Moosrose** (モースローゼ, mo:sro:zə, こけばら)





## 変母音の発音

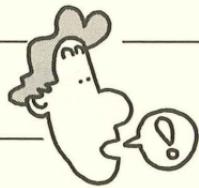
a, o, u にウムラオト (Umlaut, 変母音) がついて, a の口で「エー」と発音する ä (エー), o の口で「エー」と発音する ö (エー), u の口で「イー」と発音する ü (ユー) があります。これはドイツ語の中でも特殊なものです。

**Hände** (ヘンデ, héndə, Hand・手の複数形)

**Schönheit** (シェーンハイト, ʃø̞nhait, 美)

**küssen** (キュッセン, kysən, キスする)





## 特殊な発音： au, ei, eu, äu

### 1 au の発音

**au** は英語やフランス語のように「オー」とは読まず、「アウ」または「アオ」と発音します。本書では「アオ」を採用します。

**Auge** (アオゲ, *áugə*, 目)

**Baum** (バオム, *baum*, 樹木)

### 2 ei の発音

**ei** は「エイ」とは発音せず、かならず「アイ」と発音します。

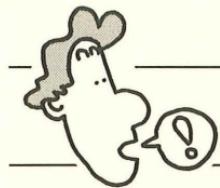
**nein** (ナイン, *nain*, いいえ)

### 3 eu, äu の発音

**eu** はかならず「オイ」と発音し、また au の a にウムラオトがついた **äu** も「オイ」と発音します。

**Feuer** (フォイア, *fóyər*, 火)

**Bäume** (ボイメ, *bóymə*, Baum・樹木の複数形)



## そのほか注意すべき発音

### 1 音節末の b, d, g は, p, t, k と発音

音節末の **b** は **p** と, **d** は **t** と, **g** は **g** または **k** と発音します。

**Laub** (ラオブ, laup, 木の葉)

**Abend** (アーベント, á:bént, 夕方)

[i] は i (i:)よりも口を開いて短く発音します。

**Mißerfolg** (ミスエアフォルク, míserfolk, 失敗)

ただし ing や ung はそのまま発音します。

**Frühling** (フリューリング, frý:liŋ, 春)

### 2 英語の発音と異なる j, v, w, z

**j** は英語の y の, **v** は f の, **w** は v の, **z** は ts の発音になります。

**Japan** (ヤーパン, já:pan, 日本)

**Volk** (フォルク, fólk, 民族)

**Wasser** (ヴァッサー, vásər, 水)

**zentral** (ツェントラール, tsentrál, まんなかの)

### 3 母音のまえの s は濁り, ss は濁らない

**Sonne** (ゾンネ, zónə, 太陽)

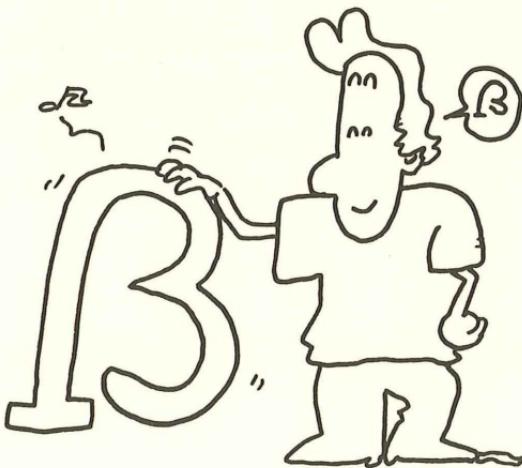
**müssen** (ミュッセン, mýsən, ～せねばならない)

**ss** は母音にはさまれたときだけ用いられ、それ以外のときは **ß** (エス・ツエット) が用いられます。

#### 4 語の最初の st は「シユト」の発音

**stehen** (シュテーエン, *ʃtē:ən*, 立つ)

**Stein** (シュタイン, *ʃtaɪn*, 石)





## アルファベットは26文字

アルファベットは、英語と同じ活字体、同じ筆記体が用いられます（しかし、古くには下に示したドイツ字体が用いられていました）。

ただし、いまも昔も変わりなく、ドイツ語には英語にないウムラオトがついたものと、エス・ツェット (ß) が余計にあります。

Ä	ä	Æ	ää	[ɛ:] エー
Ö	ö	Ö	ö	[ø:] エー
Ü	ü	Ü	ü	[y:] ユー

ウムラオトについては22ページで説明しましたが、大切なことなのでもう一度繰り返すと、aの口で[エー]、oの口で[エー]、uの口で[イー]と発音する文字です。

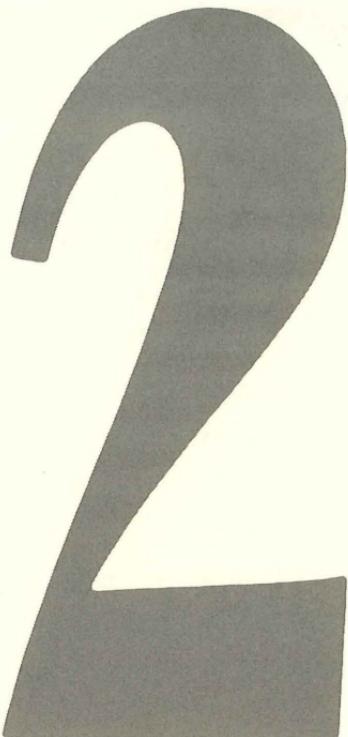
A	a	[a:] アー	N	n	[ɛn] エン
B	b	[be:] ベー	O	o	[ɔ:] オー
C	c	[tse:] ツェー	P	p	[pe:] ペー
D	d	[de:] デー	Q	q	[ku:] クー
E	e	[e:] エー	R	r	[ɛr] エル
F	f	[ɛf] エフ	S	s	[ɛs] エス
G	g	[ge:] ゲー	T	t	[te:] テー
H	h	[ha:] ハー	U	u	[u:] ウー
I	i	[i:] イー	V	v	[faʊ] ファオ
J	j	[jɔt] ヨット	W	w	[ve:] ヴェー
K	k	[ka:] カー	X	x	[iks] イクス
L	l	[ɛl] エル	Y	y	[ɛpsɪlɔn] ヨプシロン
M	m	[ɛm] エム	Z	z	[tsɛt] ツェット

この26文字に ä・ö・ü・ß を加えて、アルファベットを30とする場合もあります。

発音の規則を身につけながら、同時に単語の意味も学んできました。どれくらいの数の単語があほえられましたか。

つぎの2章では、ドイツ語の基本単語を勉強しましょう。





## 基本単語をおぼえよう

---

1章での発音の勉強はいかがでしたか。  
この2章はぐっと趣向が変わり、物語を読み、イラストを見ながら自然に単語がおぼえられるようになっています。さあ、楽しみながらの学習を始めましょう。



## Universitätに 通うK君

この章では、**Universität**（ユニヴェルティテート・大学）で**Deutsch**（ドイチュ・ドイツ語）を学ぶ男子学生のK君（彼は私の教え子です）の物語に沿ってドイツ語の単語を学んでいきましょう。場合によっては文法のきまりの初歩の初歩も登場します。

1年前期のドイツ語の授業でK君は、文法の規則の洪水に音をあげ、夏休みが始まるまでにたった4回しか講義に出席しませんでした。後期が始まるとすぐ、テストがあります。

都心に住んでいるK君は、たまたますぐ近くの**Wohnhaus**（ヴォーンハウス・住宅）に住むドイツ語を話すスイス人女性と知り合いました（ドイツ語はドイツのほかにオーストリアおよびスイスの一部で使われています）。彼女は日本支社の社員として来日していたのです。

**Wohnhaus**のwohnはwohnen（ヴォーネン・「住む」の不定詞）から来た言葉です（不定詞については36ページで説明します）。Hausは英語で言えばhouseに相当します。

その**Schweiz**（シュヴァイツ・スイス）から来た女性の名をかりに、**Anna**（アンナ）としておきましょう。

Anna は、Deutsch のほかに **Französisch** (フランツィスクイッシュ・フランス語) も話した、と K君は言います。ただし、**Englisch** (エングリッシュ・英語) は知らなかつたそうです。

そこで K君と Anna はドイツ語と英語をたがいに教え合うことにしました。

外国人に **Fremdsprache** (フレムトシュプラーへ・外国语, Fremd は foreign で Sprache は language) を習うには、相手が異性であるにかぎるといわれます。K君と Anna とのあいだに **Verhältnis** (フェアヘルトニス・恋愛関係) が成立しなかつたにせよ、彼女が **Liebe** (リーベ・好意) をもってドイツ語を教えてくれたことは確かでしょう。K君にしても同様です。とにかく 2人のドイツ語と英語の交換教授は大きな成果をあげたようです。K君は後期のドイツ語のテストを見事にクリアしたのですから。





## Ausland に来た Anna

親密さが増すにつれ、Anna は K君にプライベートなことも話すようになりました。そしてある日、彼女は自分が **Scheidung** (シャイドゥング・離婚) した身であることを告白しました。**scheiden** (シャイデン・離婚する) が不定詞で、その名詞が **Scheidung** です。

彼女が **Heirat** (ハイラート・結婚) したのは、今から 3 年まえでした。それが Scheidung にいたったのは、彼女の **Mann** (マン・夫) が他の **Frau** (フラオ・女) を妊娠させたのが原因だったというのです。

その告白はとてもショックだった、と K君は語りました。自分のドイツ語の家庭教師である、知的で美しい女性から、突然なまなましい過去を告白されたのですから当然でしょう。

日本でも「未婚の母」という言葉が一時期はやりましたが、相手の女性は Anna や Anna の夫の言葉を聞き入れず、強引に子供を産んだのだそうです。Anna にはまだ子供がおらず、夫の愛人が出産したことは **Tod** (トート・死) を考えるほどの **Krise** (クリーゼ・危機) だったと述懐したそうです。

Anna も Anna の夫も、**Abtreibung** (アップトライブング・妊娠中絶) してくれることを望んだのだが、相手の女性が出産に踏み切ったことで結局離婚せざるを得なくなっ

た——Anna は K君にそう話し、K君もその言葉を信じた  
ようです。

そんな心の傷も関係して、Anna は離婚後すぐに **Aus-land** (アオスラント・外国) である **Japan** (ヤーパン・日本) へ來たのでした。





## Anna は glücklich ではない

Anna が K君にドイツ語を教え、そのお返しに K君が Anna に英語を教えていくうちに、2人はつぎのような会話もできるほどになりました。

Ich bin nicht glücklich.  
イッヒ ピン ニヒト グリュックリッヒ

⇒ I am not happy.

訳 私は幸せではない。

この言葉はもちろん、Anna が夫の浮気で苦しんだことをさします。

Ich bin にあたる英語は I am で、nicht は not です。  
glücklich (幸福な) を「幸福」という名詞にするには、lich をとって Glück (グリュック) とすればよいのです。

彼女のそんな言葉に K君はとても気のきいた返事をしました。

Sie sind noch jung.  
ズイー ズイント ノッホ ユング

⇒ You are still young.

訳 あなたはまだ若い。

「まだ若い」というのは、女性にとって wirkungsvoll (ヴィルクングスフル・効果的な) な慰めの言葉となります。

**Wirkung** は「効果、作用」, **voll** は英語の full にあたりますから, wirkungsvoll は「効果がいっぱいの」という意味の形容詞になります。

**Sie sind nicht glücklich, aber (Sie sind) noch jung.**  
ズイー シイント ニヒト グリュックリッヒ アーバア ズイー ズイント ノッホ ユング

(aber=英・but)

→ You are not happy, but (you are) still young.

訳 あなたは幸せではない、しかし (あなたは) まだ若い。





## Anna の故郷は Schweiz

Ich komme aus der Schweiz.  
イッヒ コメ アオス デア シュヴアイツ

→ I come from Switzerland.

訳 私はスイスから来ました。

アンナのこの言葉を使って、ここでは簡単にドイツ語の動詞について説明してみましょう。

ドイツ語の動詞は文章の主語に合わせて変化します。これは日本語にはみられない大きな特徴です。この変化を人称変化と呼び、人称変化した動詞を定動詞（主語が定まつた場合の動詞）と呼びます。

それに対して、動詞の基本となるまだ変化していない形の動詞を不定詞と言います。

komme の不定詞は、kommen (コメン) です。ドイツ語の動詞の大部分は不定詞が **-en** の語尾を持っていますが、なかには **sein** (ザイン) のように **-n** の語尾のものもあります。

**sein** の定動詞として、Ich bin の **bin** と Sie sind の **sind** がこれまで出てきました (sein の活用の仕方については 67 ページを参照してください)。Ich bin は英語でいえば I am (私は～である) にあたり、Sie sind は You are (あなたは～である) にあたります。

Meine Heimat ist sehr weit von Japan entfernt.  
マイネ ハイマート イスト ゼー・ヴァイト フォン ヤーパン エントフェルント

→ My hometown is very far away from Japan.

訳 私の家は日本からたいへん遠い。

ドイツ語と英語は単語も語順もよく似ているので、どのドイツ語がどの英語に対応しているかが、すぐわかります。ist は bin・sind と同じく sein が人称変化したもので、3 人称単数の **ist** です。この言葉は意味も形も英語の is によく似ています。





## Anna の Arbeit

Meine Arbeit ist sehr schwer.  
マイネ アールバイト イスト ゼー・シュヴェーア

⇒ My work is very hard.

訳 私の仕事はとても辛い。

Anna はこんなドイツ語も K君に教えました。学生の K君にはまだ会社勤めの辛さはわかりません。K君にとって辛いことといえば、ドイツ語のさまざまな文法上の規則をおぼえることでした。

たとえば、ドイツ語の名詞にはすべて、男性、女性、中性という文法のうえでの性があります。そして名詞につく代名詞や形容詞、冠詞類(英語でいう *the* や *a*, *an* のことです)は皆、名詞の性、数、格に応じて変化するのです(格についてはまたあとで詳しく説明します。ここでは、言葉だけをおぼえてください)。これはドイツ語の大きな特徴の1つです。

上の文章をみてください。**Arbeit**(=work)は女性名詞・单数形であることから、**meine** という所有代名詞がつくのです。一見とても難しい文法上の規則に思えますが、重要なポイントさえつかんでしまえば、さほど厄介なことではありません。実際 K君にしても、辛かったのは最初のうちはだけで、ドイツ語の勉強を続けるうちに、すっかりこうし

た規則に慣れてしまいました。

さて、文中の **Arbeit** という単語の意味ですが、日本ではすっかり「副業」の意味で使われています。「副業」とドイツ語で言うには、side work にあたる **Nebenarbeit** (ネーベンアールバイト) を使います。これを「ネーベナルバイト」と続けて発音することは、ドイツ語ではありません。

**neben** は「横の、そばの」という意味の前置詞であり、そのことをはっきりわからせるために、「ネーベン・アルバイト」とわざわざ区切って発音するわけです。





## K君が書く ドイツ語の Brief

Die Sonne scheint durch das Fenster.  
ディー ゾンネ シャイント ドゥルヒ ダス フェンスター

Gehen wir in den Garten!  
ゲーエン ヴィーア イン デン ガルテン

⇒ The sun shines through the window. Let's go into the garden!

訳 陽の光が窓を通して輝いています。庭へ出ましょう！

ドイツ語	英語	日本語
Sonne	sun	太陽、陽の光
scheint	shines	輝いている
wir	we	私たち
in	into	～へ
Garten	garden	庭

ドイツ語では、文中の名詞がすべて大文字で始まるので、意味をとるうえでたいへん便利です。それにしても、「私たち」が **we** と **wir**、「庭」が **garden** と **Garten** とは何とよく似ていることでしょう。

このときに Anna が K君に教えたドイツ語は、これまで

の彼女の不幸な身の上話とは打って変わって、いかにも幸せそうです。Anna の心の傷も時の流れとともにいやされてきたのでしょうか。K君の存在も Anna にとって大きかったのかもしれません。

しかし、そんな楽しい2人の交際も、仕事の都合で Anna が帰国することになり1年たらずで終わりを告げました。たとえ短いあいだのレッスンとはいえK君のドイツ語に磨きがかかるたることは、今さら言うまでもありません。

その点については Anna も認めて、K君につぎのように言い残しました。

Sie können einen schönen Brief auf Deutsch  
ズィー ケンネン アイネン シェーネン ブリーフ アホフ ドイチュ  
schreiben.  
シュライベン

➔ You can write a beautiful letter in German.

訳 あなたはドイツ語で美しい手紙が書けます。

ドイツ語では、英語と違って助動詞の can と動詞の write とはつながらず、動詞(この場合は schreiben)が文末に来ます。そしてこの「できる」にあたる **können** (= can) は、Ich **kann** (イッヒ・カン, I can) と Sie **können** (ズィー・ケンネン, You can) というように、大きく変化します。



## Anna とその Vater

K君にとって Anna という女性は, **unglücklich** (ウングリュッククリッヒ・不幸な) な星のもとに生まれた人間でした。運命が彼女を離婚させた, と固く信じていました——K君, そして Anna 自身もです。

しかも, 彼女の母親もまた, 夫, すなわち Anna の父親と夫婦別れをしていたことがわかり, K君の Anna への同情心はいっそうのりました。

けれども, K君にくらべたらはるかに広く世の中を見てきた私には, Anna や K君とは別の解釈もできるのでした。つまり **Glück** (グリュック・運命) のいたずらというよりも, Anna と母親の **Charakter** (カラクタア・性格) の問題である, と私には思われるのです。

おとなしい父親と, 男まさりの母親。父親を恋人のように感じながら成長した Anna。そして, 気が強い妻よりも娘に親しみをおぼえていた気弱な男, Anna の父親。

**Sie sagte nichts gegen ihren Vater.**  
ズイー ザークテ ニヒツ ゲーゲン イーレン フアータア

⇒ She said nothing against her father.

訳 彼女は父親に何の口ごたえもしなかつた。

Anna の父親にたいする精神的な結びつきがどのようなものであったかが, この言葉からもうかがいします。も

し私の想像が正しいとするならば、Annaは夫よりも父親に性的に惹かれ、**unbewußt**（ウンベヴスト・無意識の）のレベルで父親との思い出に呪縛されていたのです。

この呪縛の心理をもっと具体的に言うと、Annaは夫の背後につねに父親を求めていたのです。自分を娘のように庇護してくれるような寛大さを、夫に求めていたのです。そのために夫はつねに心に疲労をおぼえ、Annaのほうもつねに心が満たされないように感じていたのです。

K君がAnnaを愛するにいたったかどうかは、私にはわかりません。願わくは、Annaの記憶が濃い影を落としているために、K君が将来彼女に似たタイプの悲劇的な女性を妻として選ぶことのないように！





## 国・国民

はじめに国名と国民名を学びましょう。国民名は男性と女性で違いがあります。

日本語	ドイツ語	
スイス	die Schweiz	シュヴェイツ
スイス人	Schweizer(男性) シュヴェイツァー	Schweizerin(女性) シュヴェイツェリン
ドイツ	das Deutschland ドイチュラント	
ドイツ人	Deutscher, Deutsche(男性・女性) ドイチュア	ドイチュ
イギリス	das England エングランド	
イギリス人	Engländer(男性) エングレンダ	Engländerin(女性) エングレンデリン
フランス	das Frankreich フランクリヒ	
フランス人	Franzose(男性) フランツオーゼ	Französine(女性) フランツエーズイン
イタリア	das Italien イターリエン	
イタリア人	Italiener(男性) イタリエーナ	Italienerin(女性) イタリエーネリン
スペイン	das Spanien シュパーニエン	

スペイン人	Spanier (男性) シュパーニア	Spanierin (女性) シュパーニエリン
アメリカ (合衆国)	( die Vereinigten Staaten von ) Amerika フェアアイニヒテン シュターテン フォン アメリカ	
アメリカ人	Amerikaner (男性) アメリカーナ	Amerikanerin (女性) アメリカーネリン
日本	das Japan ヤーバン	
日本人	Japaner (男性) ヤバーナ	Japanerin (女性) ヤバーネリン
ロシア	das Russland ルスラント	
ロシア人	Russe (男性) ルッセ	Russin (女性) ルッスイン
中国	das China ヒーナ	
中国人	Chinese (男性) ヒネーゼ	Chinesin (女性) ヒネーズイン
韓国	das Korea コレーア	
韓国人	Koreaner (男性) コレアーナ	Koreanerin (女性) コレアーネリン



## 言葉

つぎは各国の言葉ですが、これは主な国だけに限定して挙げておきます。なお、女性名詞で言い表す場合と中性名詞で言い表す場合があるため、それぞれ2種類の言い方があります。

女性名詞		中性名詞
ドイツ語	die deutsche Sprache ドイチュ シュブラーーヘ	das Deutsch ドイチュ
英語	die englische Sprache エングリッシュ シュブラーーヘ	das Englisch エングリッシュ
フランス語	die französische Sprache フランツェーズイッシュ シュブラーーヘ	das Französisch フランツェーズイッシュ
ロシア語	die russische Sprache ルスイッッシュ シュブラーーヘ	das Russisch ルスイッッシュ
日本語	die japanische Sprache ヤバニッシュ シュブラーーヘ	das Japanisch ヤバニッシュ



## 親族名

夫とか妻とか両親といった親族名をつぎに挙げます。日常的によく使われる単語ですので、しっかりおぼえましょう。

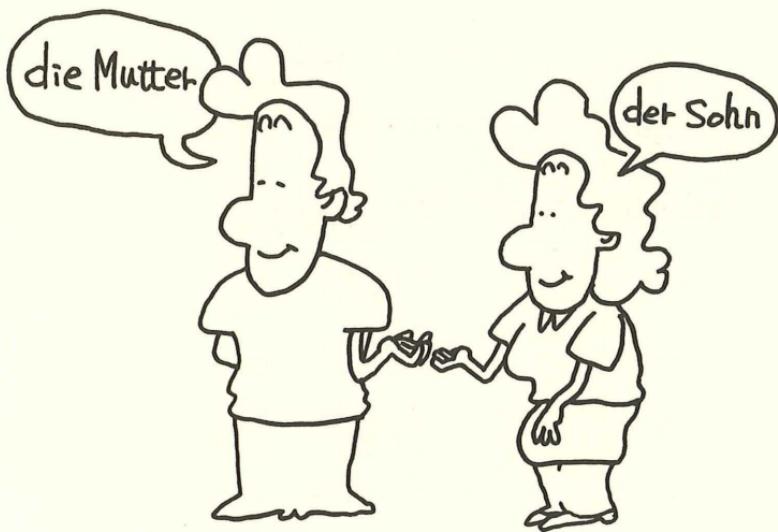
日本語	ドイツ語
両親	die Eltern エルテルン
父	der Vater ファータア
母	die Mutter ムッタア
夫	der Ehemann エーエマン
妻	die Ehefrau エーエフラー
兄弟(複数)	die Brüder ブリューダア
姉妹(複数)	die Schwestern シュヴェスター
子供	das Kind キント
息子	der Sohn ゾーン
娘	die Tochter トホタア
赤ん坊	der Säugling ゾイクリング

おじ

der Onkel  
オンケル

おば

die Tante  
タンテ





## 形容詞

基本的な形容詞を、対照的な2つの語をセットにして、つぎに紹介します。

日本語	ドイツ語
大きい・小さい	groß・klein グロース クライン
高い・低い	hoch・niedrig ホーホ ニードリヒ
軽い・重い	leicht・schwer ライヒト シュヴェーア
(値が)高い・安い	teuer・billig トイヤア ビリヒ
厚い・薄い	dick・dünn ディック デュン
せまい・広い	eng・weit エング ヴァイト
長い・短い	lang・kurz ラング クルツ
速い・遅い	schnell・langsam シュネル ラングザム
よい・悪い	gut・schlecht グート シュレヒト
正しい・間違った	richtig・falsch リヒティヒ ファルシュ
新しい・古い	neu・alt ノイ アルト
明るい・暗い	hell・dunkel ヘル ドウンケル

楽しい・悲しい	<b>lustig</b> • <b>traurig</b> ルスティヒ トゥラオリヒ
簡単な・厄介な	<b>einfach</b> • <b>schwierig</b> アインファッハ シュヴィーリヒ
静かな・うるさい	<b>ruhig</b> • <b>laut</b> ルーイヒ ラオト
熱い・冷たい	<b>heiß</b> • <b>kalt</b> ハイス カルト
太っている・やせている	<b>dick</b> • <b>schlank</b> ディック シュランク

このほかに、日常会話でよく使われる形容詞を挙げておきます。

美しい	<b>schön</b> シェーン
親切な	<b>nett</b> ネット
こっけいな	<b>komisch</b> コミッシュ
壊れている	<b>kaputt</b> カブット
易しい	<b>leicht</b> ライヒト



## 動詞

36ページで説明したように、動詞の基本となるまだ人称変化していない形の動詞を、ドイツ語では不定詞と呼びます（動詞の意味を辞書で調べる場合も、定動詞を不定詞に直して引かなければなりません）。

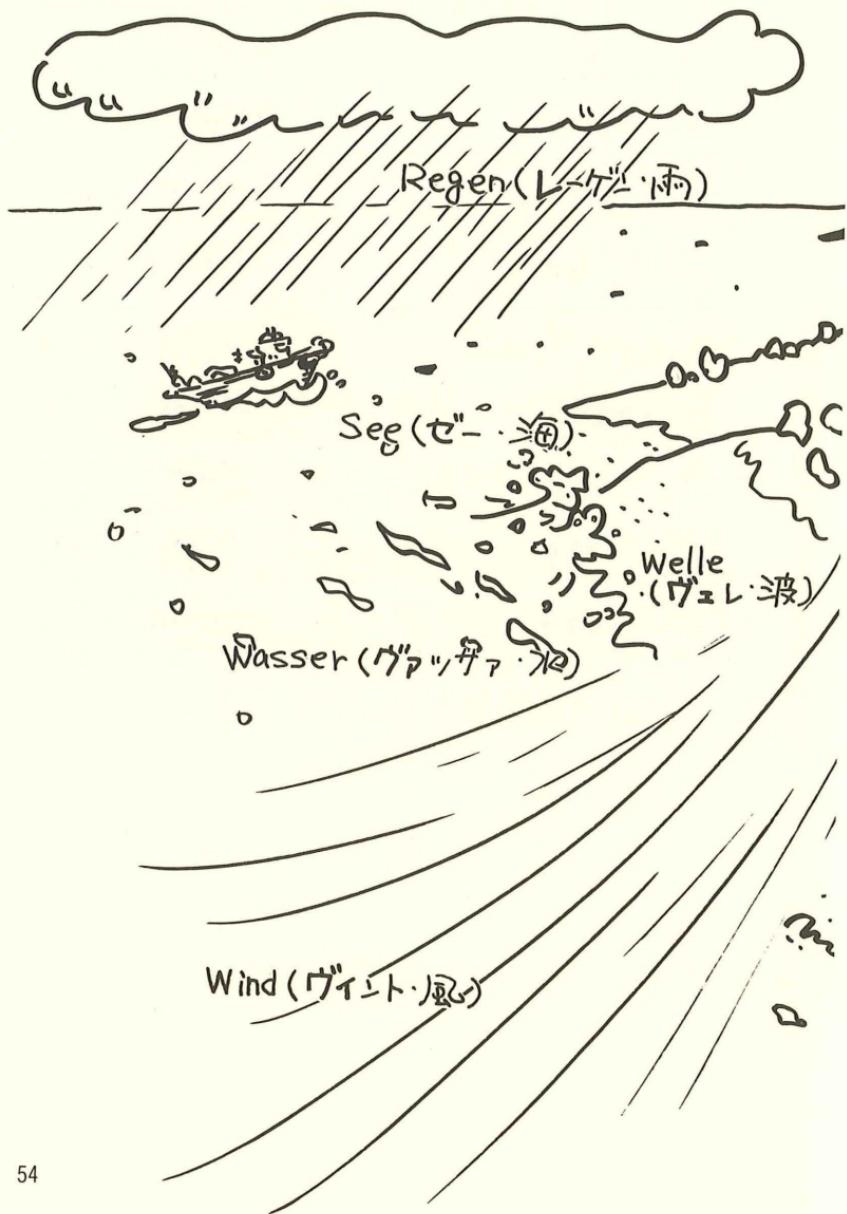
基本的な不定詞を、アイウエオ順にいくつか挙げます。

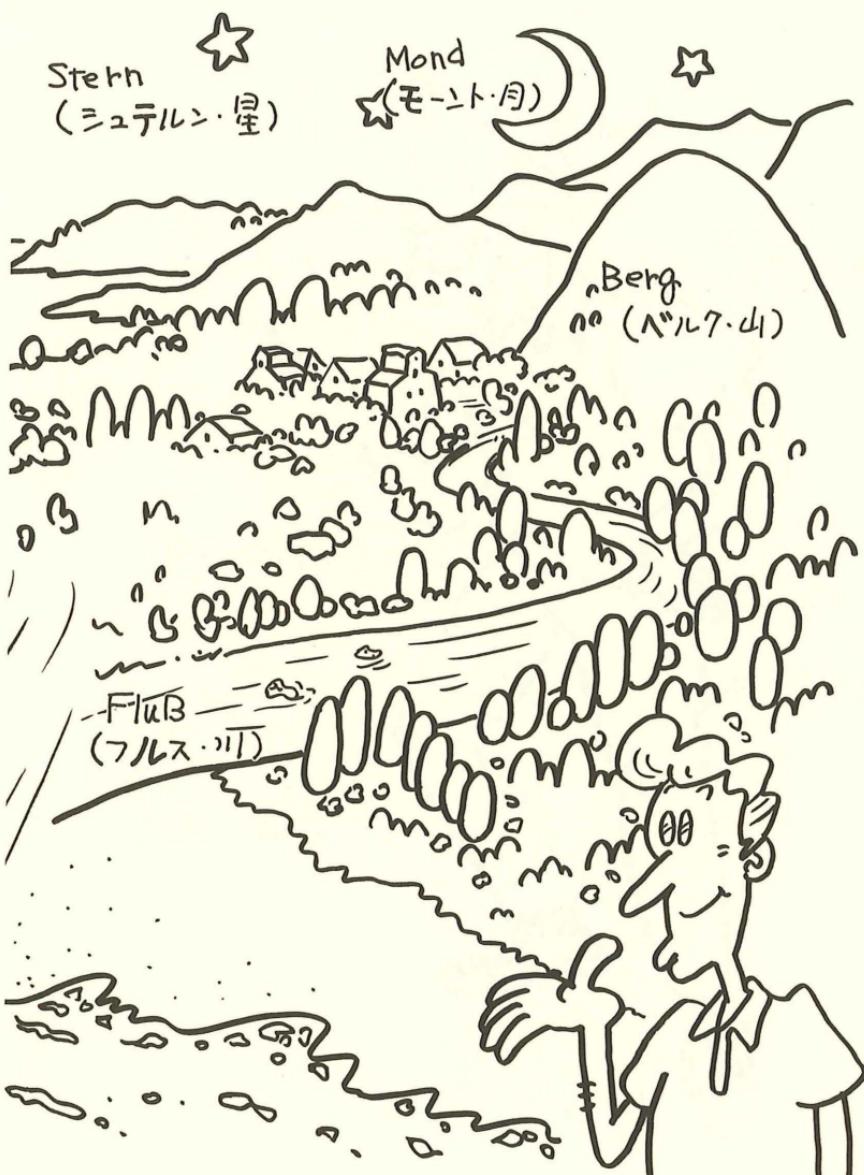
日本語	ドイツ語
あいさつする	grüßen グリューセン
与える	geben ゲーベン
雨が降る	regnen レーグネン
言う	sagen ザーゲン
得る	bekommen ベコメン
起きる	aufstehen アオフューテーエン
押す	drücken ドゥリュッケン
思う	denken デンケン
買う	kaufen カオフェン
帰る	zurückkehren ツリュックケーレン

書く	<b>schreiben</b> シュライベン
感じる	<b>fühlen</b> フューレン
聞く	<b>hören</b> ヘーレン
決める	<b>sich entschließen</b> ズイヒ エントシュリーゼン
見学する	<b>besichtigen</b> ペズィヒティゲン
(人を)知っている	<b>kennen</b> ケネン
知っている	<b>wissen</b> ヴィッセン
死ぬ	<b>sterben</b> シュテルベン
建てる	<b>erbauen</b> エアバオエン
食べる	<b>essen</b> エッセン
使う	<b>benutzen</b> ベヌツツエン
作る	<b>machen</b> マッヘン
飛ぶ	<b>fliegen</b> フリーゲン
取る	<b>nehmen</b> ネーメン
眠る	<b>schlafen</b> シュラーフェン
望む	<b>wünschen</b> ヴュンシェン

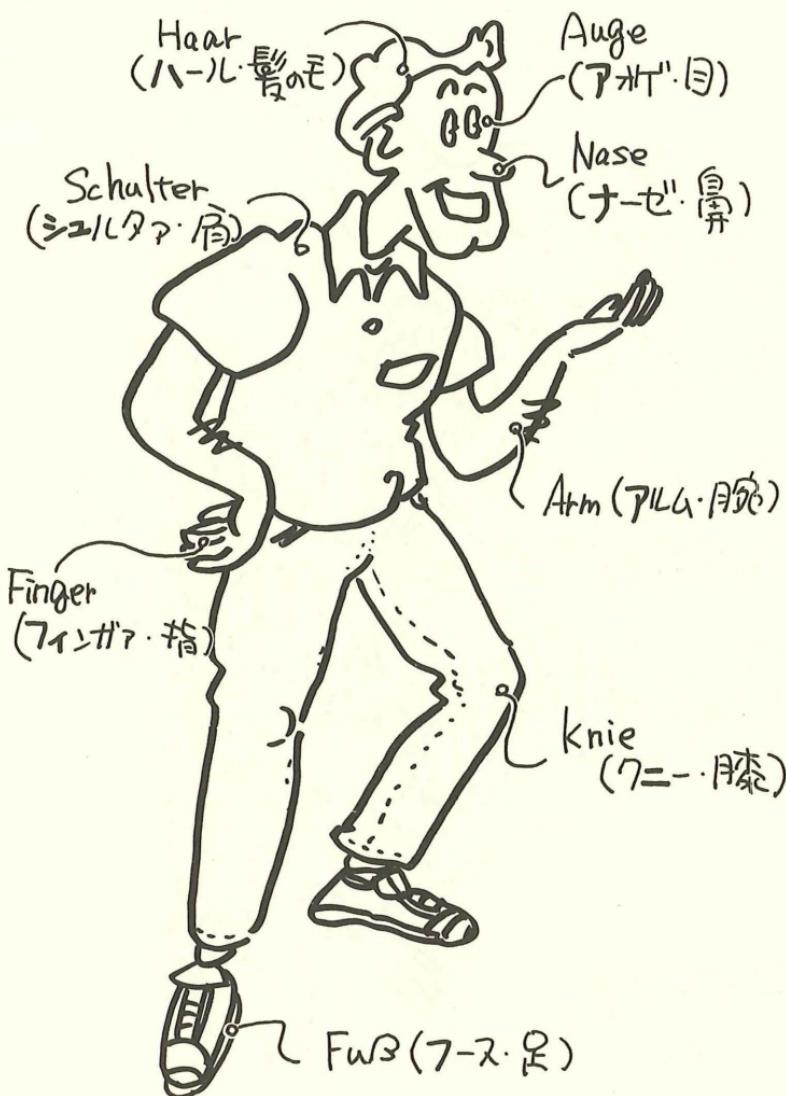
(電車に)乗る	einstiegen アインシュタイゲン
話す	sprechen シュプレッヒェン
必要とする	brauchen ブラオヘン
訪問する	besuchen ベズーヘン
見る	sehen ゼーエン
持っている	haben ハーベン
(乗物で)行く	fahren ファーレン
呼ぶ	rufen ルーフェン
読む	lesen レーゼン
理解する	verstehen フェアシュテーエン

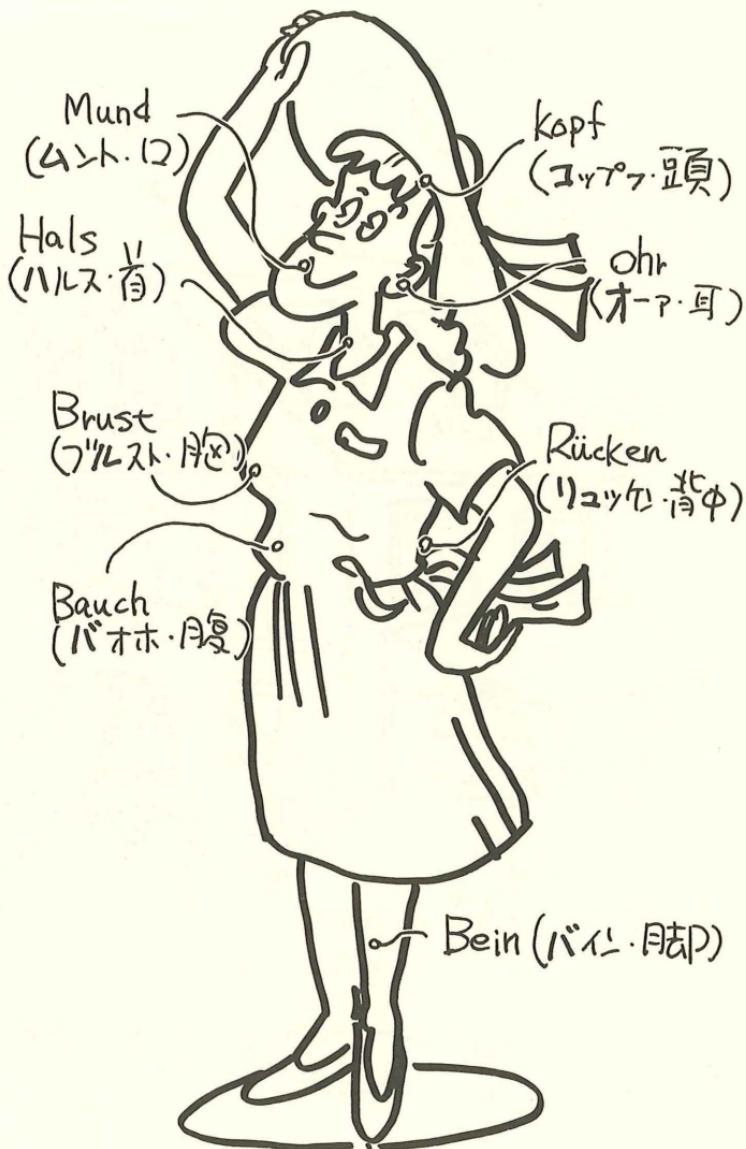
# 自然に関する単語





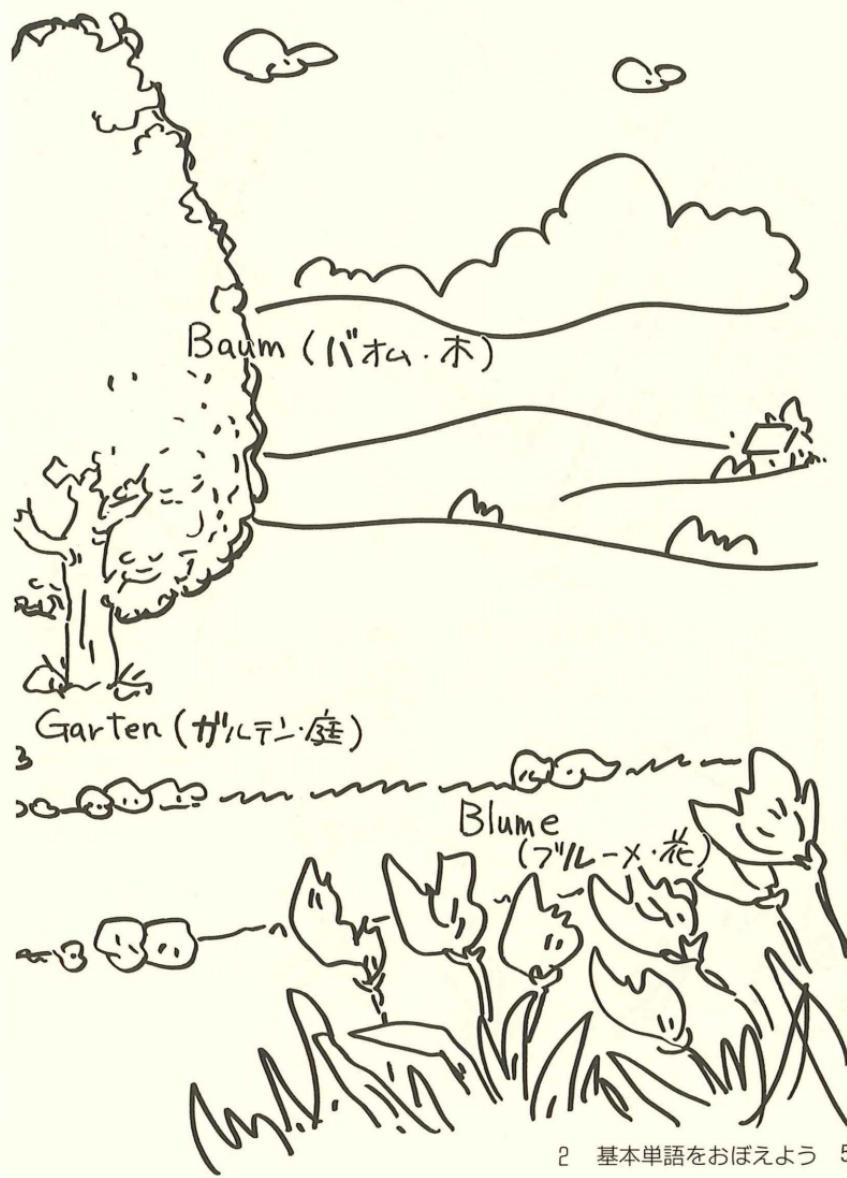
## 身体に関する単語



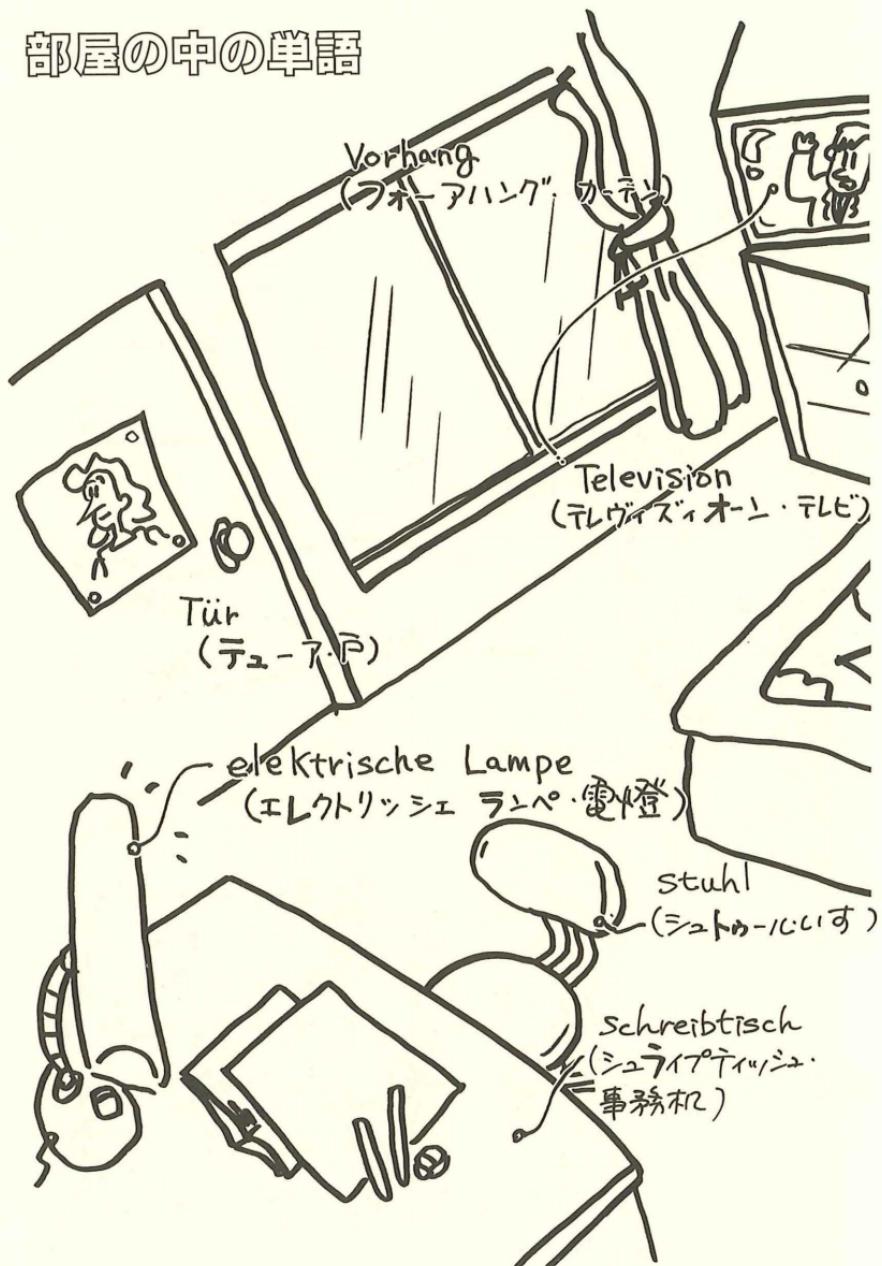


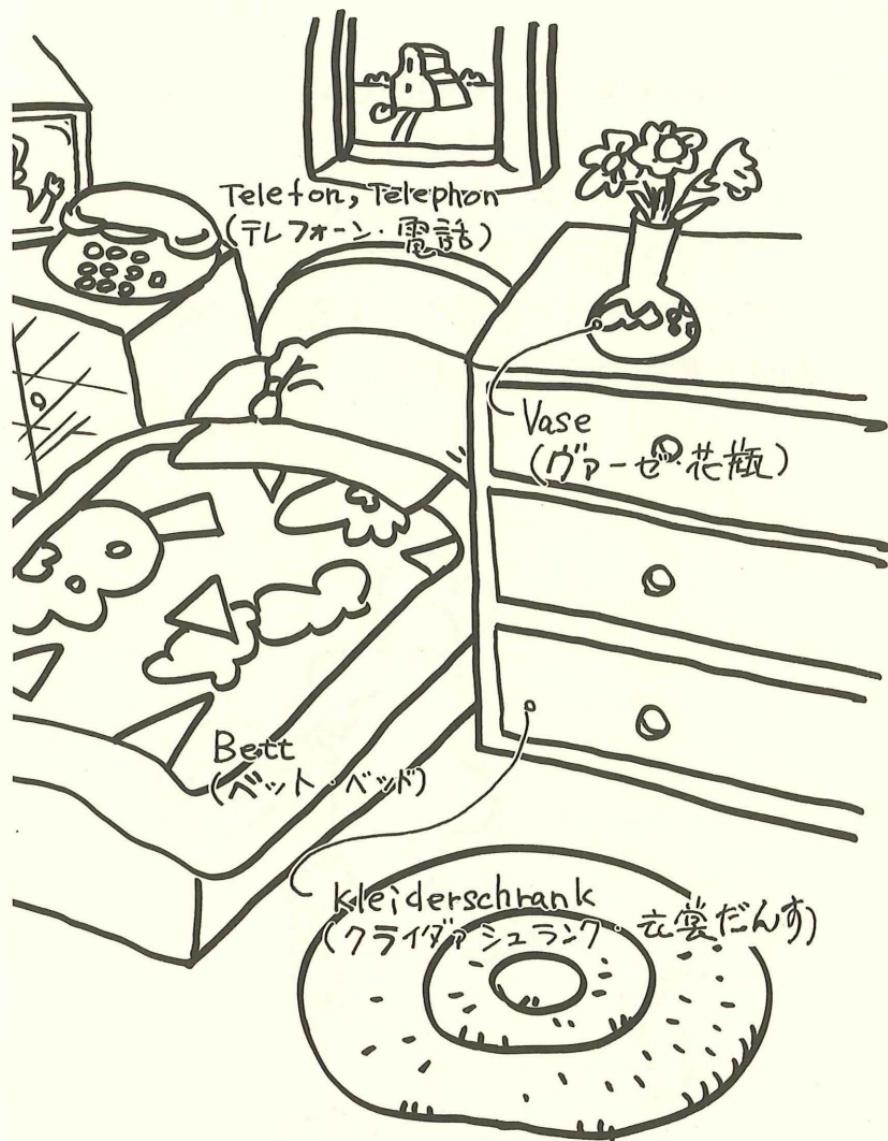
## 家の周辺の単語





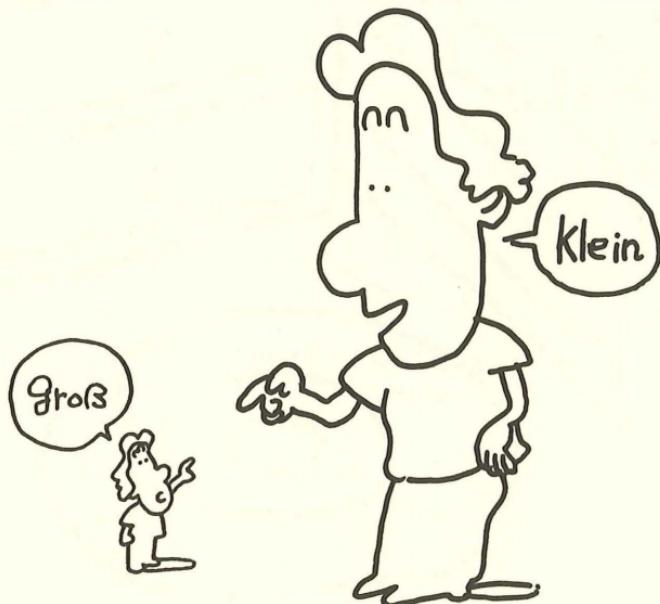
## 部屋の中の単語





つぎの3章では、基礎的な文法を勉強します。ドイツ語と英語は文の構造がよく似ていますから、この2つの言語を比較しながらおぼえていきましょう。

項目が21ありますので、3項目ずつ読めば1週間で読了できます。



# 3

## 文法の基礎を身につけよう

---

この3章は、21の項目にわかれています。あせらずじっくりとそれぞれの項目を学んでいきましょう。各項目の終わりにはまとめとして、練習問題がついています。必ずそれを解いてからつぎの項目に進んでください。学生の皆さんには教科書とあわせて勉強するのも、効果的でしょう。



## 1 英語と関連づけて ドイツ語を学ぼう

つぎに挙げるドイツ語の文の意味がわかりますか。

**Ich habe ein Buch. Das ist ein deutsches Buch.**  
イッヒ ハーベ アイン ブーフ ダス イスト アイン ドイチエス ブーフ

おそらくはじめてドイツ語を学ぶ人でも、英語からの類推でおおよその見当がつくことだと思います。ちなみに、この文章を英語に直すとこうなります。

I have a book. This is a German book.

「私は1冊の本を持っています。これはドイツ（語）の本です」が日本語訳です。では、ここでこのドイツ語と英語の文章を並べて比較してみましょう。IchはI（私）と同じ意味です。

**Ich habe ein Buch.**

↑      ↑      ↑      ↑

I have a book.

**Das ist ein deutsches Buch.**

↑      ↑      ↑      ↑      ↑

This is a German book.

habe が have で, ist が is だなんて, ドイツ語と英語は  
びっくりするほど似ていますね。

もう 1 つ, 例を挙げてみましょう。

**Sie sind (ein) japanischer Student.**  
ズィー ズィント アイン ヤバーニッシャア シュトゥデント

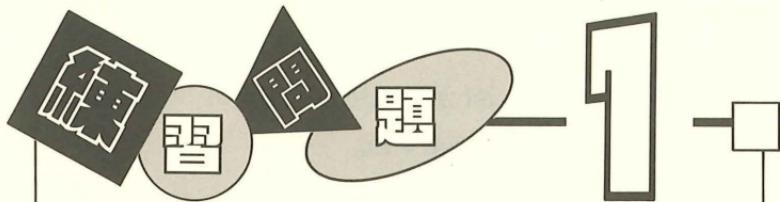
↑      ↑      ↑      ↑      ↑

You are a Japanese student.

あなたは日本の学生です。

もちろん, 英語と違う点もいろいろとあります。67ページの表を見ていただければわかるように, 大文字の S で始まる **Sie** には「あなた・あなたたち」という意味があり, s が小文字になった **sie** には「彼女」という意味があります。また sie には, 「彼ら・彼女ら・それら」という意味もあります。英語の you にしても, he, she にしても大文字か小文字かで意味が違うことはありませんね。この Sie と sie の意味の違いはドイツ語独特のものと言えるでしょう。

彼女	sie
彼ら・彼女ら・それら	sie
あなた・あなたたち	Sie



つぎの文を訳してみましょう

1. Ich habe ein deutsches Buch.
2. Ich habe heute keine Zeit.
3. Das ist ein japanisches Buch.
4. Das ist ein Apfel.
5. Sie kommen nach Hause.
6. Sie sind japanischer Arzt.

---

解 答

---

1. 私は1冊のドイツ（語）の本を持っている。
2. 私はきょうはひまがない。
3. これは1冊の日本（語）の本である。
4. これは1個のリンゴだ。
5. あなたは家へ帰る。
6. あなたは日本人の医師だ。



## 2 人称代名詞の変化

英語の I にあたる単語は ich であり, she にあたる単語は sie であることは前に述べました。ich は文法的に説明すると 1 人称単数, sie は 3 人称単数です。この項目では ich や sie をはじめとする人称代名詞の変化を学んでいきます。つぎの表をみてください (sein は英語の be 動詞, haben は have にあたります。2 つともとても大切な動詞ですので, 人称変化といっしょにおぼえてしまいましょう)。

单 数		sein ザイン	haben ハーベン
1 人称	ich イッヒ	bin ピン	habe ハーベ
2 人称(親称)	du ドゥー	bist ビスト	hast ハスト
3 人称	er・sie・es エア ズィー エス	ist イスト	hat ハット
複 数		sein ザイン	haben ハーベン
1 人称	wir ヴィーア	sind ズィント	haben ハーベン
2 人称(親称)	ihr イーア	seid ザイト	habt ハーブト
3 人称	sie ズィー	sind ズィント	haben ハーベン
2 人称(敬称)	Sie ズィー	sind ズィント	haben ハーベン

er, sie, es がそれぞれ英語の he, she, it にあたります。

have や be といった活用前の形を英語では動詞の原形と呼びましたが、ドイツ語では**不定詞**と呼びます（不定詞については36ページで説明しましたね）。

Ich habe wenig Geld, aber viel Zeit.  
イッヒ ハーベ ヴェーニヒ ゲルト アーバア フィール ツァイト

私はお金は少ししかありませんが、時間はたくさんあります。

Ich habe wenig Geld, aber viel Zeit.

↑      ↑      ↑      ↑      ↑      ↑      ↑

I have little money, but much time.

**wenig** は little と同じく、否定的な意味ですが、**ein wenig** の形になると肯定的な a little の意味になります。

**Geld** (お金) は通常は冠詞をつけて das (英・the) Geld と表現します。しかし冠詞の **wenig** や **kein** (英・no, not) がつくと、das という定冠詞が消えます。I have no money. (私は金がない) はドイツ語では、Ich habe kein Geld. です。

**Zeit** (時間) も viel (たくさんの) という形容詞が前についているため、冠詞なしで使われています。

なお、ドイツ語では修飾する名詞に従つて形容詞の語尾も変化します。このことについては83ページで詳しく説明

します。

meine vielen Freunde

マイネ フイーレン フロインデ

私の・たくさん・の・友人たち

**Zeit** はまた, **haben** とともに使われるときには, 定冠詞がつきません。しかし, 否定の場合は否定冠詞の **kein** がついで **keine Zeit** となります。

Wann haben Sie Zeit?

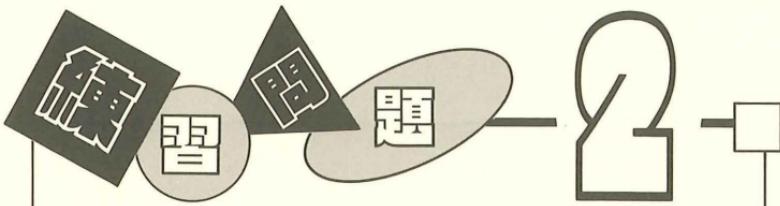
ヴァン ハーベン ズイー ツァイト

いつあなたはあひまでですか。

Ich habe keine Zeit.

イッヒ ハーベ カイネ ツァイト

私はひまがありません。



つぎの文を訳してみましょう。

1. Heute habe ich Geburtstag.
  2. Haben Sie eine Speisekarte auf Englisch ?
  3. Er hat Hunger.
  4. Du bist krank.
  5. Sind Sie Japaner ?
- Nein, ich bin Chinese.

---

解 答

---

1. きょうは私の誕生日だ。

2. 英語のメニューはありますか。

3. 彼は空腹である。

4. 君は病気だ。

5. あなたは日本人ですか。

いいえ、私は中国人です。



## 3 名詞にはすべて性がある

名詞の単数・複数の区別は、英語にもフランス語にもドイツ語にも同じようにあります。

男性・女性の区別は英語ではごく一部の名詞に、フランス語では全部の名詞にあります。ところが、ドイツ語の名詞には、男性・女性のほかに中性もあります。その点、ロシア語と同じです。

英語の the にあたるドイツ語の定冠詞は、それぞれ男性・女性・中性で形を変えます。さらにそれらが各々、複数形を持ちますので、合計形は 6 つになります。

男 性 名 詞 〈父〉	
单 数	複 数
<b>der Vater</b> デア ファータア	<b>die Väter</b> ディー フェータア
女 性 名 詞 〈母〉	
单 数	複 数
<b>die Mutter</b> ディー ムッタア	<b>die Mütter</b> ディー ミュッタア
中 性 名 詞 〈子供〉	
单 数	複 数
<b>das Kind</b> ダス キント	<b>die Kinder</b> ディー キンダア

合計 6 つの形があると言いましたが、複数形は定冠詞

die が共通して使われているため、6つバラバラの形というわけではありません。

さて、ここでつぎの文をみてください。

**Luise ist die Schwester der Mutter.**  
ルイーゼ イスト ディー シュヴェスター デア ムッタア

⇒ Luise is the sister of the mother.

訳 ルイーゼはあの（その）母親の姉妹です。

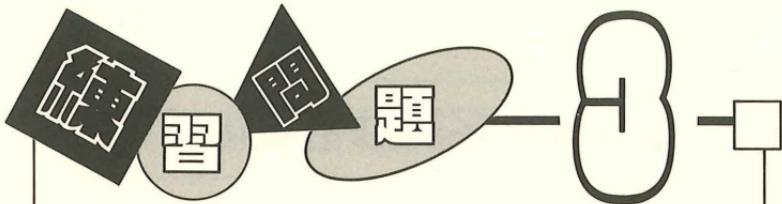
これまで学んできたことから、dieは**Schwester**（姉妹）につく冠詞、derは**Mutter**（母）につく冠詞であることがすぐにわかると思います。

ところで、このドイツ語の文と英語の文をくらべてみて、何か気がついたことはないでしょうか。

ドイツ語の文章には「母の（=of the mother）妹」の「の」（=of）にあたる語が見当たりません。このようにドイツ語は文中での役割によって冠詞と名詞が形を変え、助詞（～が、～の、～に、～を）の働きを代用するのです。これを名詞の格変化と言います。

格変化については、つぎの項目で詳しく説明しますので、ここでは以下の対応だけをおぼえておきましょう。

1格	<b>die Mutter</b>	その母が～
2格	<b>der Mutter</b>	その母の～
3格	<b>der Mutter</b>	その母に～
4格	<b>die Mutter</b>	その母を～



つぎの文を訳してみましょう。

1. Der Garten ist groß und schön.
2. Jene Frau ist meine Mutter.
3. Heute ist das Wetter sehr gut.
4. Ich finde die Bücher nicht auf dem Tisch.
5. Hinter unserem Haus stehen alte Bäume.

---

解 答

---

1. その庭は大きくて美しい。
2. あの婦人は私の母です。
3. きょうは天気が大変よい。
4. その本（複数形）がその机の上に見つからない。
5. 私たちの家のうしろに、古い木（複数形）が立っている。



## 4 名詞は格変化する

英語の名詞やフランス語の名詞と違い、ドイツ語の名詞は定冠詞と結びつくことによって、「～は (が)」、「～の」、「～に」、「～を」という助詞がついた名詞とほぼ同じ意味を持つようになります。

つまり、簡単に言えばドイツ語では日本語の助詞「～が」、「～の」、「～に」、「～を」の働きを、冠詞+名詞の変化で代用するということです。その変化を実際のドイツ語にあてはめてみていきましょう。

das Buch **der Mutter** 母の本

das Buch **der Mutter** 母に本を (与える)

(ich) sehe **die Mutter** (私は)母を見る

上の文には「母の」、「母に」、「母を」という Mutter (母) の3つの格があります。「母は (が)」という格は、1格にあたります。それを下の表でみてください。

单 数			
	男性(父)	女性(母)	中性(子供)
1格	der Vater ファーダア	die Mutter ムツタア	das Kind キント
2格	des Vaters ファーダアス	der Mutter	des Kindes キンデス
3格	dem Vater	der Mutter	dem Kind

4格	den Vater	die Mutter	das Kind
複 数			
	男性(父)	女性(母)	中性(子供)
1格	die Väter フェータア	die Mütter ミュッタア	die Kinder キンダア
2格	der Väter	der Mütter	der Kinder
3格	den Vätern	den Müttern	den Kindern
4格	die Väter	die Mütter	die Kinder

つぎの文を読んでみてください。

Ich schreibe dem Vater einen Brief.  
イッヒ シュライベ デム ファータア アイネン ブリーフ

私は（その）父に1通の手紙を書く。

これを英語に直して、ドイツ語の文章とくらべてみましょう。

Ich schreibe dem Vater einen Brief.  
 ↑      ↑      ↓      ↓  
 I      write      a letter      to the father.

つまり、英語では to が the father について、「その父に」という意味が生じ、ドイツ語では **Vater** が3格になることによって、「その父に」という意味が生じるわけです。同じように、Brief (手紙) も einen という不定冠詞の働きで、

4格（～を）になっているのです。

こんどは、つぎの文を読んでみてください。

Ich rufe den Vater an.  
イッヒ ルーフェ デン ファータア アン

私は（その）父に電話をかける。

日本語の感覚からすると、「父に電話をかける」は  
der（が）・des（の）・dem（に）・den（を）  
という格変化に沿って、つぎのように言いたくなります。

Ich rufe **dem** Vater an.

上の文章は格変化に準じれば一見正しいようにみえるか  
かもしれません。

しかし、どの格が来るかは動詞によってきまつてあり、  
きまつた格以外は使えないきまりがあるのです。

anrufen（電話をかける）という動詞のあとには4格が來  
ること（これを文法的にはanrufenが4格をとる・支配す  
ると言います）を、下記のように jemand（イエーマント、  
誰だれは）を使っておぼえる習慣を身につけましょう。

jemanden anrufen（誰だれを・電話する）  
イエーマンデン アンルーフェン

→ anrufenは「人の4格」をとる、とおぼえましょう。  
アンルーフェン

同じように、「父に（手紙を）書く」は、jemandem（イ  
エーマンデム）schreibenとなります。

jemandの3格の jemandemを **jm**、4格の jemanden

を **jn** と略します。また, etwas (エトヴァス, 何か) は **et** と略します。

つぎの動詞は特に格の支配を間違えやすいので, 気をつけましょう。

ドイツ語	日本語
jn anrufen	～に電話をする
jm helfen	～を助ける
jn et fragen	～に…をたずねる
jn treffen	～と会う
jm et stehlen	～から…を盗む

物の 4 格の目的語をとる動詞（他動詞）は, つぎのようにおぼえましょう。

**et** (エトヴァス, 何々を) **essen** (エッセン, 食べる) → これをエトヴァス エッセンとおぼえます。



つぎの文を訳してみましょう。

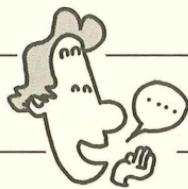
1. Heute schenkt er dem Freund ein Buch.
2. Ich gebe dem Kind Schuhe und Kleider.
3. Die Fenster dieses Zimmers sind offen.
4. Diese Bauern sind die Nachbarn meines Onkels.
5. Aus dem Auto steigen zwei Damen. Sie fragen einen Jungen nach dem Weg zum Bahnhof.

---

解 答

---

1. きょう、彼は友達に1冊の本を送る。
2. 私はその子供に靴と衣服を与える。
3. この部屋の窓は開いている。
4. これらの農夫たちは、私のおじの隣人だ。
5. 自動車から2人の女性が降りてくる。彼女たちは1人の少年に、駅へ行く道を尋ねる。



## 5 動詞の人称変化

この項目では動詞の変化を学びます。英語にくらべるとドイツ語の動詞の変化は複雑にみえるかもしれません、特殊なものを除き (haben や sein など)、当然変化には規則があります。まずは最も代表的な変化をおぼえましょう。

不定詞 lernen (学ぶ) の変化表

单 数		
1 人称	ich lerne レルネ	私は学ぶ
親 称 2 人称	du lernst レルンスト	君は学ぶ
3 人称	er sie es } lernt レルント	彼 彼女 それ } は学ぶ
複 数		
1 人称	wir lernen レルネン	私たちは学ぶ
親 称 2 人称	ihr lernt レルント	君たちは学ぶ
3 人称	sie lernen レルネン	彼たち 彼女たち それたち } は学ぶ
敬 称 2 人称	Sie lernen レルネン	あなた あなた方 } は学ぶ

敬称を除いて、「e, st, t, en, t, en」の語尾です。

表からわかるように、「彼(女)たちは学ぶ」と「あなたは学ぶ」は、同じ「ズィー・レルネン」の発音です。

語尾が「e, st, t, en, t, en」と規則変化をする動詞のほかに, du と er の場合においてだけ, つぎの 2 つの型の不規則変化をする動詞があります。

### 1) ウムラオト型動詞

	親称・2人称(单数)	3人称(单数)
schlafen	du schläfst	er schläft

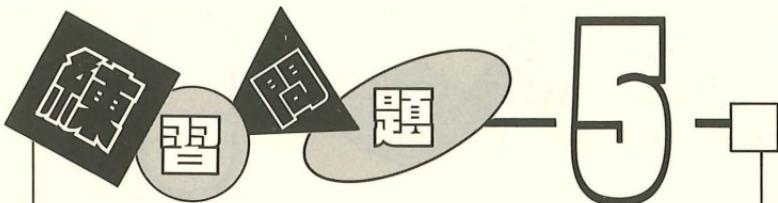
この型には **schlafen** (シュラーフェン, 眠る) のほかに **fahren** (ファーレン, 乗物で行く), **fallen** (ファレン, 落ちる), **backen** (バッケン, パンを焼く) などがあります。

### 2) e → i 型と e → ie 型

	親称・2人称(单数)	3人称(单数)
sprechen	du sprichst	er spricht
sehen	du siehst	er sieht

e → i 型には **sprechen** (シュプレッヒェン, 話す) のほかに, **geben** (ゲーベン, 与える), **essen** (エッセン, 食べる) などがあり, e → ie 型には **sehen** (ゼーエン, 見る) のほかに **lesen** (レーゼン, 読む) があります。

このほかにも, 不規則変化をする動詞がありますが, それは独和辞典の巻末についている「動詞変化表」を参照して少しづつおぼえていくください。

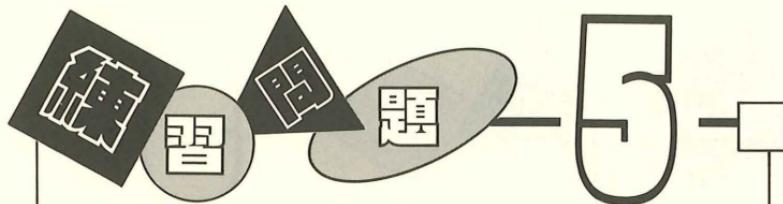


Ⓐ つぎの動詞を人称変化させてみましょう。

1. wohnen (住む)
2. gehen (行く)
3. machen (つくる)
4. fassen (つかむ)
5. laufen (走る)

――解 答――

1. ich **wohne**, du **wohnst**, er **wohnt**  
wir **wohnen**, ihr **wohnt**, sie **wohnen**
2. ich **gehe**, du **gehst**, er **geht**  
wir **gehen**, ihr **geht**, sie **gehen**
3. ich **mache**, du **machst**, er **macht**  
wir **machen**, ihr **macht**, sie **machen**
4. ich **fasse**, du **faßt**, er **faßt**  
wir **fassen**, ihr **faßt**, sie **fassen**
5. ich **laufe**, du **läufst**, er **läuft**  
wir **laufen**, ihr **läuft**, sie **laufen**



□ つぎの文を訳してみましょう。それぞれの動詞の不定詞を解答に載せますので、参考してください。

1. Ein Kind weint und schreit.
2. Er lehrt, aber lernt nicht.
3. Der Vogel fliegt schnell.
4. Das Kind schwimmt gut.
5. Der Vater gibt Karl ein Buch. Er liest gern Bücher.

---

解 答

1. 1人の子供が泣き叫んでいる (← **weinen, schreien**)。
2. 彼は (人にものを) 教えるが (自分自身は) 学ばない。 (← **lehren, lernen**)。
3. その鳥は速く飛ぶ (← **fliegen**)。
4. その子供は上手に泳ぐ (← **schwimmen**)。
5. その父親はカールに1冊の本を与える。彼は本を好んで読む (← **geben, lesen**)。



## 6 形容詞にも性・数・格がある

これまでみてきたように、ドイツ語の名詞には性・数・格がありました。それと同様に、ドイツ語では形容詞と所有代名詞(英語で言えば my, your, his などです。これはまた不定冠詞類とも呼ばれます)にも性・数・格があるのです。

この 2 つは、修飾する名詞の性、および数によって語尾が変化し、さらに名詞とともに「が・の・に・を」の格変化を起こします。

Das lange Haar des Sohnes gefällt dem alten Vater  
ダス ランゲ ハール デス ゾーネス ゲフェルト デム アルテン ファータ  
nicht.  
ニヒト

(その) むすこの (その) 長い髪は、(その) 年老いた父親の気に入りません。

Das lange Haar des Sohnes は、英語で言えば The long hair of the son にあたります。Haar (髪) に das という中性の 1 格の定冠詞がついているので、この単語が中性名詞であることがわかります。

格変化については 86~87 ページの表を参照してください。これは「形容詞 + 名詞」の格変化をまとめたものです。

形容詞の弱変化の場合、

- ① 男性・単数の 1 格
- ② 女性・単数の 1 格と 4 格
- ③ 中性・単数の 1 格と 4 格

この 3 つの形容詞だけが-e の語尾をとります。

形容詞がこのように単調な語尾変化を示すのは、そのまえにつく定冠詞がすでに活発な変化をしていて、性・数・格をはっきりさせているからです。つまり、あえてもう 1 度形容詞で性・数・格をはっきりさせる必要がないというわけです。こうした不活発な変化を形容詞の弱変化（弱い変化）と呼びます。

**Kleine Kinder trinken gern süße Milch.**  
  クライネ キンダ  
  トリンケン ゲルン ジューゼ ミルヒ

小さい子供（というもの）は甘い牛乳を喜んで飲む。

上の文のように「その子供」でなく、「子供一般」を指すときは、定冠詞がつきません。その場合、形容詞が定冠詞の代わりに性・数・格をはっきりさせる必要が生じますので、活発な変化を示します。これを形容詞の強変化（強い変化）と呼びます。

**Kleine Kinder** は、中性・単数・1 格の **kleines Kind** が、複数になったものです。弱変化ならば、**Die kleinen Kinder** となります。

**mein** (マイン・私の) や **dein** (ダイン・君の) といった所有代名詞は、つぎの不定冠詞 **ein** (ひとつの, 英・a, an)

と、同じ変化をします。

男性名詞	女性名詞	中性名詞
ein Mann	eine Frau	ein Kind
eines Mann(e)s	einer Frau	eines Kind(e)s
einem Mann	einer Frau	einem Kind
einen Mann	eine Frau	ein Kind

ein型の格変化をする所有代名詞を挙げます。

<b>mein</b> 私の マイン	<b>unser</b> 私たちの ウンザア
<b>dein</b> 君の ダイン	<b>euer</b> 君たちの オイア
<b>sein</b> 彼の ザイン	<b>ihr</b> 彼ら・彼女ら・それらの イーア
<b>ihr</b> 彼女の イーア	<b>Ihr</b> あなた(がた)の イーア
<b>sein</b> その ザイン	

形容詞にはまた英語と同じように、**比較級**(erをつける)と**最上級**([e]stをつける)があります。

alt (老いた) -älter-ältest, schön (美しい) -schöner-schönst。「私の兄」は mein älterer Bruder。「彼の妹」は seine jüngere Schwester。「クラウスは私より年上で  
す」は Klaus ist älter als ich.

## 形容詞+名詞の変化

形容詞の弱変化（定冠詞+形容詞+名詞）

	男 性	女 性
1 格	der <b>gut-e</b> Mann	die <b>gut-e</b> Frau
2 格	des <b>gut-en</b> Mannes	der <b>gut-en</b> Frau
3 格	dem <b>gut-en</b> Mann	der <b>gut-en</b> Frau
4 格	den <b>gut-en</b> Mann	die <b>gut-e</b> Frau

形容詞の強変化（形容詞+名詞）

	男 性	女 性
1 格	<b>gut-er</b> Mann	<b>gut-e</b> Frau
2 格	<b>gut-en</b> Mannes	<b>gut-er</b> Frau
3 格	<b>gut-em</b> Mann	<b>gut-er</b> Frau
4 格	<b>gut-en</b> Mann	<b>gut-e</b> Frau

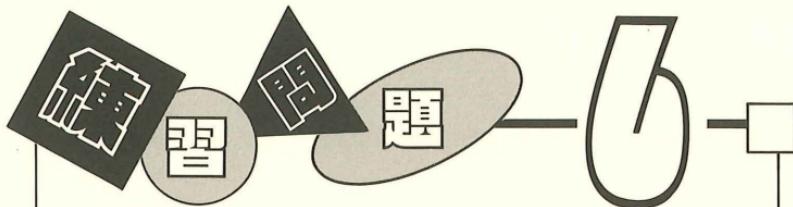
形容詞の混合変化（不定冠詞+形容詞+名詞）

	男 性	女 性
1 格	ein <b>gut-er</b> Mann	ein- <b>e</b> <b>gut-e</b> Frau
2 格	ein- <b>es</b> <b>gut-en</b> Mannes	ein- <b>er</b> <b>gut-en</b> Frau
3 格	ein- <b>em</b> <b>gut-en</b> Mann	ein- <b>er</b> <b>gut-en</b> Frau
4 格	ein- <b>en</b> <b>gut-en</b> Mann	ein- <b>e</b> <b>gut-e</b> Frau

中 性	複数(共通)
das <b>gut-e</b> Kind	die <b>gut-en</b> Männer
des <b>gut-en</b> Kindes	der <b>gut-en</b> Männer
dem <b>gut-en</b> Kind	den <b>gut-en</b> Männern
das <b>gut-e</b> Kind	die <b>gut-en</b> Männer

中 性	複数(共通)
<b>gut-es</b> Kind	<b>gut-e</b> Männer
<b>gut-en</b> Kindes	<b>gut-er</b> Männer
<b>gut-em</b> Kind	<b>gut-en</b> Männern
<b>gut-es</b> Kind	<b>gut-e</b> Männer

中 性	複数(共通)
ein <b>gut-es</b> Kind	mein- <b>e</b> <b>gut-en</b> Kinder
<b>ein-es</b> <b>gut-en</b> Kindes	mein- <b>er</b> <b>gut-en</b> Kinder
<b>ein-em</b> <b>gut-en</b> Kind	mein- <b>en</b> <b>gut-en</b> Kindern
ein <b>gut-es</b> Kind	mein- <b>e</b> <b>gut-en</b> Kinder



つぎに挙げる「私は・私の・私に・私を」という人称代名詞の格変化をおぼえて、練習問題をやってみましょう。

	1人称	2人称	3人称
单数	ich	du	Sie
	meiner	deiner	Ihrer
	mir	dir	Ihnen
	mich	dich	Sie
复数	wir	ihr	Sie
	unser	euer	Ihrer
	uns	euch	Ihnen
	uns	euch	Sie

1. Wie geht es Ihnen ?
2. Ich gebe ihr ein Armband.
3. Diese Arbeit ist deiner nicht würdig.
4. Ich liebe dich. Du liebst mich auch.

---

解 答

---

1. ごきげんいかがですか (Ihnen は Sie の 3 格 [あなたに] です)。
2. 私は彼女に腕輪を与える。
3. この仕事は君にふさわしくない (deiner は 2 格です)。
4. 私は君を愛している。君も私を愛している。



## 7 前置詞の格支配

on the table (テーブルの上に) をドイツ語で言う場合, **auf dem** Tisch と **auf den** Tisch の 2通りがあります。Tisch(テーブル)に 3格および4格をとる前置詞 auf がついたため, 格変化 der•des•dem•den のうちの 3格の dem と 4格の den がつくのです。以下, 代表的な前置詞をみていきます。

### a) 2格支配の前置詞 (たとえば **statt**)

Statt **des** Geldes schickt er nur einen Brief.  
シュタット デス ゲルデス シックト エア ヌーア アイネン ブリーフ

お金のかわりに, 彼は 1通の手紙だけを送る。

中性名詞 **Geld**(お金)の格変化は, das Geld-des Geldes -dem Geld-das Geld です。

### b) 3格支配の前置詞 (たとえば **bei**)

Er wohnt **bei** meiner Tante.  
エア ヴォーエント バイ マイナア タンテ

彼は私のおばのところに住んでいる。

85ページで述べたように **mein**(私の)は, 不定冠詞の **ein** (ひとつの)と同じ語尾の格変化をします。meine (eine) Tante-meiner (einer) Tante-meiner (einer) Tante-meine (eine) Tante。

### c) 4格支配の前置詞（たとえば **gegen**）

Er schwimmt **gegen** den Strom.  
エア シュヴィムト ゲーゲン デン シュトローム

彼は流れにさからつて泳ぐ。

男性名詞 **Strom**（流れ）の格変化は、der Strom - des Strom(e)s-dem Strom-den Strom です。

### d) 3・4格支配の前置詞（たとえば **auf**）

Das Buch ist (liegt) **auf** dem Tisch.  
ダス ブーフ イスト リーグト アオフ デム ティッッシュ

（3格支配）

本がテーブルの上にある。

Ich lege das Buch **auf** den Tisch.  
イッヒ レーゲ ダス ブーフ アオフ デン ティッッシュ

（4格支配）

私は本をテーブルの上に置く。

ist という動詞が「静止」（=位置）を表しているために、  
**auf** が3格の名詞を支配して **dem Tisch** が来ます。lege  
は「運動」（=方向）を表すために、**auf** が4格の名詞を支  
配して **den Tisch** が来ます。Tisch は男性名詞ですので、  
der・des・dem・den（単数）と格変化します。

もう1つ、**auf** を使った例を見ましょう。3格支配か4格  
支配かでまったく意味が違ってきますね。

**auf der Straße** 通りに（いる、3格・位置）  
アオフ デア シュトラーセ

**auf die Straße** 通りへ（走る、4格・方向）  
アオフ ディー シュトラーセ

それではつぎに、今挙げたもの以外の前置詞を紹介しま  
す。

Ⓐ **statt** 以外の 2 格支配の前置詞

**trotz** ～にもかかわらず **während** ～のあいだに

**wegen** ～のゆえに **um～willen** ～のために

**ex** **Trotz** des Regens～ 雨にもかかわらず  
トロツツ デス レーゲンス

Ⓑ **bei** 以外の 3 格支配の前置詞

**aus** ～から

**mit** ～とともに

**seit** ～以来

**von** ～の・から・について

**zu** ～へ・に・のために

**nach** ～へ・のあとに・によ  
ると

**ex** **Nach** dem Essen～ 食事のあとに  
ナーハ デム エッセン

Ⓒ **gegen** 以外の 4 格支配の前置詞

**bis** ～まで

**für** ～のために

**durch** ～を通じて

**um** ～のまわりに

**ohne** ～なしに

**ex** **um** den Tisch～ テーブルのまわりに  
ウム デン ティッシュ

Ⓓ **auf** 以外の 3・4 格支配の前置詞

**an** のそば

**in** のなか

**unter** の下

**hinter** のうしろ

**vor** の前

**über** の上方

**neben** の横

**zwischen** のあいだ

前置詞はまた、定冠詞・代名詞と融合して綴りを変えます。以下、おもな例をみてきましょう。

an dem → am

an das → ans

auf das → aufs

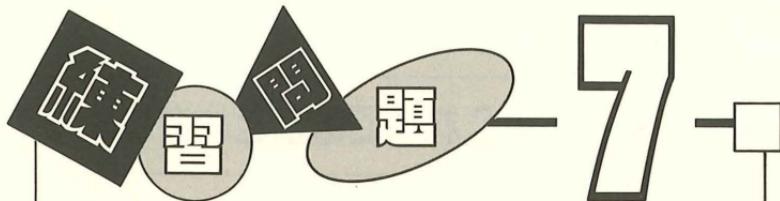
in dem → im

in das → ins

bei dem → beim

von dem → vom

zu dem → zum



つぎの文を訳してみましょう。

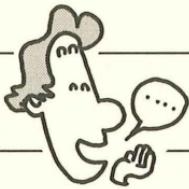
1. Sie kommt mit dem Lehrer.
2. Er geht durch die Tür.
3. Er bringt den Koffer zum Bahnhof.
4. Er dankt dem Freund für das Geschenk.
5. Ich warte auf meinen Freund.

---

### 解 答

---

1. 彼女は先生といっしょに来る (**mit** は 3 格支配)。
2. 彼はドアを通って行く (**durch** は 4 格支配)。
3. 彼はトランクを駅へ運ぶ (**zum** は **zu dem** のこと。**zu** は 3 格支配)。
4. 彼は友達に贈物のことで感謝する (**für** は 4 格支配)。
5. 私は友達を待っている (**auf** はこの場合は 4 格支配)。



## 8 これまでのまとめをしよう

これまでの学習でだいぶドイツ語にも慣れたことだと思います。ここで短い文章を読んでみましょう。月と季節に関する文章です。

### Das Jahr

ダス ャール

*Das Jahr hat zwölf Monate. Sie heißen :*

ダス ャール ハット ツヴェルフ モーナテ ズイー ハイセン

*Januar, Februar, März, April, Mai, Juni, Juli,*

ヤヌアール フェーブルアール メルツ アブリル マイ ユーニ ユーリ

*August, September, Oktober, November und*

アオグスト ゼブテムバア オクトーバア ノヴェムバア ウント

*Dezember.*

デツエムバア

*Der Monat hat 30 (dreißig) oder 31*

デア モーナト ハット ドライスィヒ オーダア

*(einunddreißig) Tage. Nur der Februar hat 28*

アインウントドライスィヒ ターゲ ヌーア デア フェーブルアール ハット

*(achtundzwanzig) oder 29 (neunundzwanzig)*

アハトウントツヴァンツィヒ オーダア ノインウントツヴァンツィヒ

*Tag.*

ターゲ

*Es gibt vier Jahreszeiten. Sie heißen : der*

エス キーブト フィーア ヤーレスツァイテン ズイー ハイセン デア

*Frühling, der Sommer, der Herbst und der*

フリューリング デア ゾムマア デア ヘアブスト ウント デア

*Winter.*

ヴィンタア

## [解 説]

**Das Jahr** (1年) と **Der Monat** (月) と **der Februar** (2月) の das, der, der は、英語の the にあたる定冠詞です。詳しくは「4. 名詞は格変化する」で説明したとおりですが、der が単数男性名詞を、die が単数女性名詞を、das が単数中性名詞を表します。

したがってこのことから、**Frühling**(春) と **Sommer**(夏) と **Herbst**(秋) と **Winter**(冬) が、全部男性名詞であることがわかります。

**Monate** は Monat (月) の複数形です。

Sie は大文字で始まっていますが、67ページの「人称代名詞の変化」の表を見ていただければ見当がつくように、**zwölf Monate** (12の月) を受けている3人称複数の sie です。

**heißen** は動詞の3人称複数であり、sie lernenと同じく -en の語尾がつき、意味は「～と言う、称する」です。

Januar～Dezember は、英語の January～December にあたり、「1月…12月」です。

**und** は and(そして)、**oder** は or(または)、**nur** は only(だけが) です。

**Tage** は Tag (day, 日) の複数形です。

**Es gibt** の gibt は geben (与える) の3人称単数で、ここでは非人称動詞として使われています。これは英語の there is (are) にあたり、「～がある」の意味です。なおこの **Jahreszeiten** (季節) は gibt の目的語になっており、格は4格です。

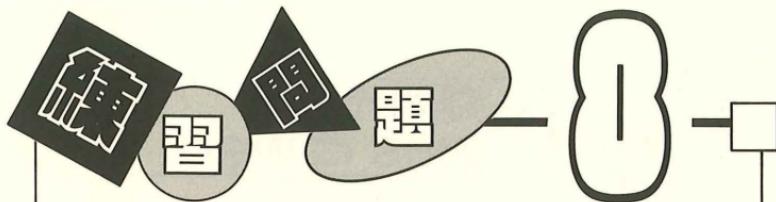
**vier** は「4つの (four)」です。

**Jahreszeiten** は **Jahreszeit** (女性・单数, 季節) の複数形で, **Zeit** は「時」を表す言葉です。

## 1年

1年には12カ月あります。それらは1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月と言います。ひと月は30日または31日あります。2月だけが28日または29日です。

4つの季節があります。それらは, 春, 夏, 秋, 冬と言います。



つぎの会話の文章を読んでみましょう。

1. Sind Sie Deutscher ?

Nein, ich bin Engländer.

2. Ich habe Fieber.

3. Haben Sie einen kostenlosen Stadtplan ?

4. Das ist zu teuer.

5. Wie heißt der nächste Bahnhof ?

6. Gibt es ein Warenhaus ?

---

解 答

---

1. あなたはドイツ人ですか。

いいえ、私は英国人です。

2. 私は熱があります。

3. あなたは無料の市街地図をお持ちですか。

4. それは（値が）高すぎます。

5. つぎの（←いちばん近い）駅は何といいますか。

6. デパートはありますか。



## 9 疑問代名詞 was と wer

疑問文では「誰が？」という言い方と、「何が？」という言い方がいちばん多く使われます。

英語の Who～? , What～? がドイツ語では Wer～? と Was～? になります。こうした「誰が?」「何が?」といった形の構文は英語でもドイツ語でも**疑問代名詞**と呼ばれます。

**Was ist das?**  
ヴァス イスト ダス

⇒ What is that?

訳 あれは何ですか。

**Wer ist dort?**  
ヴェーア イスト ドルト

⇒ Who is there?

訳 そこに誰がいますか。

上の das は, that (あの) の意味と the (その) の意味の両方に用いられる**指示代名詞**です。

なお, das Buch と言うときの das が指示代名詞ではなくて定冠詞であることは, 言うまでもありません。

**Was macht der Junge?**  
ヴァス マハト デア ユンゲ

⇒ What is the boy doing ?

訳 その少年は何をしているのですか。

Wer geht so schnell ?

ヴェーア ゲート ゾー シュネル

⇒ Who is going so quickly ?

訳 そんなに急いで行くのは誰ですか。

**macht** の不定詞は **machen** (マッヘン) で、英語の do, make にあたります。

以上、was という疑問代名詞が 1 格と 4 格の形で用いられるaosをみてきました。これを表にまとめると下のようになります。

何が (1 格)	was ? ヴァス
何の (2 格)	—
何に (3 格)	—
何を (4 格)	was ? ヴァス

つぎに、wer という疑問代名詞がつぎの 4 つの格の形で用いられるaosを、それぞれ例文を挙げてみることにします。

誰が (1 格)

wer ?

誰の (2格)

wessen ?  
ヴェッセン

誰に (3格)

wem ?  
ヴェーム

誰を (4格)

wen ?  
ヴェーン

1格から4格までの例文をみていきましょう。

1格

Wer ist er ?  
ヴェーア イスト エア

彼は誰ですか。

2格

Ich weiß nicht, wissen Haus das ist.  
イッヒ ヴァイス ニヒト ヴェッセン ハオス ダス イスト

あれが誰の家かを、私は知らない。

weiß の不定詞は、wissen (ヴィッセン・知っている) です。

3格

Wem geben Sie das Buch ?  
ヴェーム ゲーベン ズイー ダス ブーフ

その本をあなたは誰に与えるのですか。

Sie (あなた) も sie (彼〔女〕たち) も、また wir (私たち) も、不定詞と同じ形の geben を用います (79ページの「不定詞 lernen」の語尾を参照)。

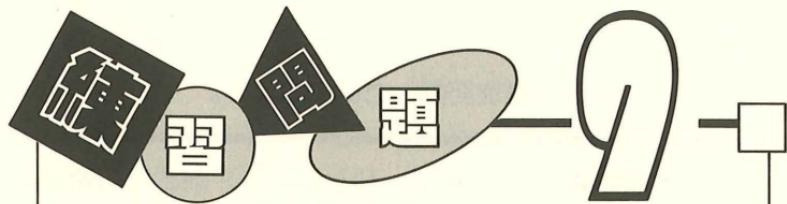
4格

Wen möchten Sie besuchen ?  
ヴェーン メヒテン ズイー ベズーヘン

あなたは誰を訪問したいのですか。

上の **möchten** については、107ページの「話法の助動詞」の項目で説明します。





つきの文を訳してみましょう。

1. Mit wem gehen Sie ?
2. Was hast du in der Hand ?
3. Wem schenkst du diese Puppe ?
4. Wessen Kleid nähen Sie ?
5. Was für einen Wagen haben Sie ?
6. Was für einen Hut haben Sie gekauft ?

---

解 答

---

1. あなたは誰と行くのか。
2. 君は手（のなか）に何を持っているのか。
3. 君は誰にこの人形を贈るのか。
4. あなたは誰のドレスを縫っているのですか。
5. あなたはどんな車をお持ちですか。
6. あなたはどんな帽子を買いましたか。  
(6の文章については「現在完了」の章を参照してください)。



## 10 関係代名詞 der と was

英語の the はドイツ語では der・die・das・die にあたります。つまりドイツ語では冠詞にも性と数があり、さらに4つの格があります。

名詞が何格であるかが、定冠詞や不定冠詞 (ein など) によって明確にされるわけです。

この **der** や **die** はまた、下のように 1) 指示代名詞と 2) 関係代名詞にもなります。

- 1) Ich habe einen Vogel. **Der** singt schön.  
イッヒ ハーベ アイネン フォーゲル テーア ズイングト シェーン

➡ I have a bird. That sings beautifully.

訳 私は1羽の鳥を飼っている。それは美しく歌う。

- 2) Ich habe einen Vogel, **der** schön **singt**.  
イッヒ ハーベ アイネン フォーゲル テーア シェーン ズイングト

➡ I have a bird **which** sings beautifully.

訳 私は美しく歌う1羽の鳥を飼っている。

### 1 関係代名詞 der

der・die・das・die は、関係代名詞の場合にも格変化し、定冠詞と違う発音をするものもあります。詳しくは105ページの表を参照してください。

1) の Der は前の文章の鳥を指すことから指示代名詞

と呼びれます。

1) の文の指示代名詞の場合と、2) の文の関係代名詞の場合とでは、動詞の singt の位置が違います。

関係代名詞に導かれる文では、動詞が文末に来ます。

関係代名詞には、2) の文の～Vogel, der の Vogel, つまり先行詞がないものもあります。たとえば、

Wer lange lebt, erfährt viel.  
ヴェーア ランゲ レーブト エアフェーアト フィール

⇒ Who lives long experiences much.

訳 長生きする人は、多くのことを見聞きする。

このように先行詞を持たない関係代名詞を、**不定関係代名詞**と呼びます。～Vogel, der の der は、これにたいして**定関係代名詞**と呼ばれます。

## 2 関係代名詞 was

Was ist das? (あれは何ですか) の **Was** は、**疑問代名詞**です。しかし、was はまた der と同じく、つぎのように**関係代名詞**にもなります。

1) **Was** er hat, gibt er gern.  
ヴァス エア ハット ギーブト エア ゲルン

⇒ What he has, he gives willingly.

訳 彼は自分が持っているものを、喜んで与える。

2) Das Beste, **was** wir haben können, ist die  
ダス ベステ ヴァス ヴィーア ハーベン ケンネン イスト ディー

**Freiheit.**

フライハイト

→ The best thing that we can be given is freedom.

翻 われわれが持ちうる最高のものは、自由である。

上の 1) の文には先行詞がなく、2) の文の先行詞は Das Beste です。

#### 関係代名詞

男 性	女 性	中 性	複 数
<b>der</b> デー ア	<b>die</b> ディー	<b>das</b> ダス	<b>die</b> ディー
<b>desse</b> デッセ ン	<b>de</b> ーレン	<b>desse</b> デッセ ン	<b>de</b> ーレン
<b>de</b> ーム	<b>de</b> ーム	<b>de</b> ーム	<b>de</b> ーネン
<b>de</b> ーン	<b>de</b> ィー	<b>da</b> ス	<b>de</b> ィー

関係代名詞は [ ] で囲んだもの以外は定冠詞と同じ変化ですが、**das** と **desse** 以外は長くのばして発音し、定冠詞と区別します。

# 練習問題 10

つきの文を訳してみましょう。なお、5のカッコの中の関係代名詞は、省略されることがあります。

1. Der Junge, der hier steht, ist mein Bruder.
2. Der Junge, dessen Vater tot ist, ist unglücklich.
3. Ich habe einen Freund, dem ich vertrauen kann.
4. Wessen Hand kalt ist, dessen Herz ist warm.
5. Wer den ganzen Tag arbeitet, (der) ist abends sehr müde.

---

## 解 答

1. ここに立っている少年は、私の兄弟だ。
2. 父親が死んだ少年は、不幸である。
3. 私には信頼できる友人がいる。
4. 手が冷たい人の心はあたたかい。
5. 一日中働く人は、晩はとても疲れている。



## 11 話法の助動詞

英語の助動詞 can, may, must などにあたるドイツ語は, **können** (できる), **dürfen** (してよい), **müssen** (ねばならない), **sollen** (すべきである), **mögen** (好む, かもしれない), **wollen** (欲する) です。

動詞と結びついて, 可能性や必然性や意図などを述べるこれらの助動詞を話法の助動詞 (話法とは会話のことです。話のなかで, 話者の気持ちや主観的なニュアンスを伝える役割をするのでこう呼ばれるのです) と呼びます。

それでは, 話法の助動詞 6 つをそれぞれ英語と対応させながら見ていきましょう。

<b>können</b> ケンネン	can	Ich (er) kann カン
<b>dürfen</b> デュルフエン	may	Ich (er) darf ダルフ
<b>müssen</b> ミュッセン	must	Ich (er) muß ムス
<b>sollen</b> ゾレン	should	Ich (er) soll ゾル
<b>mögen</b> メーゲン	may	Ich (er) mag マーク
<b>wollen</b> ヴォレン	will	Ich (er) will ヴィル

これらの助動詞がどのように会話で用いられるのか, つぎにいくつか例文を挙げてみます。

**Können** Sie Deutsch ? (sprechen は略されます)  
ケンネン ズイー ドイチュ

⇒ Can you speak German ?

訳 あなたはドイツ語が話せますか (können)。

**Wen soll ich fragen ?**  
ヴェーン ソル イッヒ フラーゲン

⇒ Who should I ask ?

訳 誰に聞けばよいですか (sollen の活用例)。

**Muß ich das Frühstück jetzt bestellen ?**  
ムス イッヒ ダス フリューシュテュック イエツツト ベシュテレン

⇒ Must I order a breakfast now ?

訳 いま朝食を予約しなければなりませんか (müssen の活用例)。

最初に挙げた 6 つの話法の助動詞のうちで, mögen は会話ではその接続法が使われます。

まず mögen (不定詞) の現在 1 人称である **Ich mag**～があり, その過去形の **Ich mochte**～があり, それをさらに接続法第 II 式にすると, **Ich möchte**～という形になるわけです。

接続法は, 直説法 (これまで学んできたような, 事実を事実として伝えるのに用いられる動詞の定形です) が客観的事実を表すのにたいして, そうあってほしい, 可能性が

ある、不確かなことを述べるのに用いられます。英語でいう仮定法に当たるものです。当然、動詞の定形もこれまで学んできたものと違います。

「コーヒーを（できれば）一杯いただきたい（のですが）」の、カッコのなかの言葉が「そうあってほしい、不確かなこと」を言い表しています。そのことによって遠慮する気持といいな感じが、相手につたわります。

Ich möchte ein Zimmer mit Bad.  
イッヒ メヒテ アイン ツインマア ミット バート

⇒ I'd like a room with bath.

訳 バスつきの部屋をお願いしたいのですが。

Ich möchte eine Krawatte kaufen.  
イッヒ メヒテ アイネ クラヴァッテ カオフェン

⇒ I want to buy a necktie.

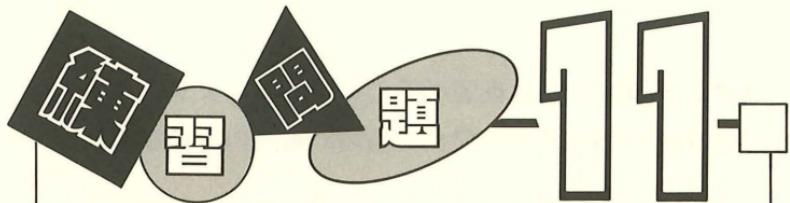
訳 ネクタイを買いたいのですが。

英語にくらべると、ドイツ語の会話はていねいです。たとえば、

Geben Sie mir bitte~.  
ゲーベン ズイー ミー・ア ピッテ

Please, give me~.

くらべてみると、「どうぞ私にください」と言うために、ドイツ語は「どうぞ、あなたが私にください」というように、敬称の **Sie**（あなた）を使っています。



つぎの文を訳してみましょう。4のカッコの中は省略されることがあります。

1. Er kann hoch springen.
2. Alle Studenten dürfen die Bibliothek benutzen.
3. Ich mag ihn jetzt nicht sehen.
4. Jetzt müssen wir nach Hause (gehen).
5. Wir sollen ehrlich sein.
6. Ich will einmal nach Deutschland fahren.

---

解 答

---

1. 彼は高く跳ぶことができる。
2. すべての学生は図書館を利用してよい。
3. 私はいま彼に会いたくない。
4. 私たちはもう家に帰らなければならない。
5. 私たちは正直であるべきだ。
6. 私は1度ドイツへ行こうと思っている。



## 12 動詞の過去形

ドイツ語の動詞の形は英語と似ており、現在形・過去形・未来形・現在完了形・過去完了形・未来完了形があります。

そのほかに、「11. 話法の助動詞」の項目で説明したように、英語の仮定法にあたる接続法という形もあります。

ここでは過去形を説明していきますが、そのまえに現在・過去・過去分詞の順に、いくつかの代表的な動詞の活用を挙げてみましょう。

### 1 繰りの変化が少ないもの（弱変化・規則動詞）

現在	過去	過去分詞	意味
lernen レルネン	lernte レルンテ	gelernt ゲレルント	学ぶ
lieben リーベン	liebte リーブテ	geliebt ゲリーブト	愛する

### 2 繰りの変化が激しいもの（強変化・不規則動詞）

現在	過去	過去分詞	意味
essen エッセン	aß アース	gegessen ゲゲッセン	食べる
gehen ゲーエン	ging ギング	gegangen ゲガングン	行く

<b>kommen</b> コメン	<b>kam</b> カーム	<b>gekommen</b> ゲコメン	来る
<b>geben</b> ゲーベン	<b>gab</b> ガーブ	<b>gegeben</b> ゲゲーベン	与える

### 3 変化が1と2の混合（混合変化・不規則動詞）

現 在	過 去	過去分詞	意 味
<b>bringen</b> プリンゲン	<b>brachte</b> プラハテ	<b>gebracht</b> ゲプラハト	持っていく
<b>denken</b> デンケン	<b>dachte</b> ダハテ	<b>gedacht</b> ゲダハト	考える

### 4 特殊な形の **sein**, **haben**, **werden**

**sein** (ザイン, である) と **haben** (ハーベン, 持つ) と **werden** (ヴエーアデン, になる) は, いずれにも属さない変化を示します。

現 在	過 去	過去分詞	意 味
<b>sein</b> ザイン	<b>war</b> ヴァール	<b>gewesen</b> ゲヴェーゼン	～である
<b>haben</b> ハーベン	<b>hatte</b> ハッテ	<b>gehabt</b> ゲハーブト	持つ
<b>werden</b> ヴエーアデン	<b>wurde</b> ヴルデ	<b>geworden</b> ゲヴォルデン	～になる

さてここで過去形の勉強として, 少し長い文章を紹介しましょう。『グリム童話』のなかの, 「狼と七匹の仔山羊」という童話の書出しの文章です。

*Es war einmal eine alte Geiß, die hatte*  
エス ヴァール アインマール アイネ アルテ ガイス ティー ハッテ

*sieben junge Geißlein. Eines Tages wollte sie*  
スイーベン ユンゲ ガイスライン アイネス ターゲス ヴォルテ ズイー

*in den Wald gehen und Futter holen.*

イン デン ヴァルト ゲーエン ウント フッタア ホーレン

→ There was (← It was) once an old goat, who had seven young kids. One day she wanted to go in the wood and get food.

訳 昔々一匹の年老いた山羊がいました。その山羊には七匹の幼い子供の山羊がいました。ある日、年老いた山羊は森のなかへ行き餌をとつくることにしました。

**Es war** は **Es ist (It is)** の過去形, **die hatte** は **die hat** の過去形, **wollte sie** は (動詞・主語) **will sie** の過去形です。なお, **gehen** と **holen** は, 不定詞です。

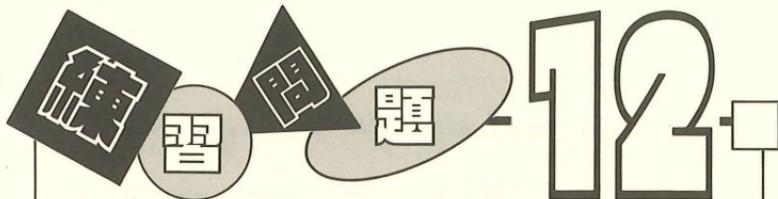
**kommen** の過去形は人称によって, つぎのように変化します。

ich kam              wir kamen

du kamst              ihr kamt

er                      sie kamen

sie } kam  
es



つぎの文を訳してみましょう。

1. Ich war gestern bei meinem Onkel.
2. Was für Blumen brachtet ihr eurer kranken Tante ?
3. Kolumbus entdeckte Amerika.
4. Er ging gestern ins Kino.
5. Die Tränen traten ihm in die Augen.
6. Er sandte einen Boten zum Arzt.

---

—解 答—

---

1. 私はきのうおじのところへ行っていた。
2. 君たちはどんな花を病気のおばに持っていったのか。
3. コロンブスはアメリカ（大陸）を発見した。
4. 彼はきのう映画に行った。
5. 涙が彼の目にあふれた（← **treten**・出る）。
6. 彼はその医師に使いの者をやった。（← **senden**・送る）。



## 13 過去分詞

これまでに過去分詞の例として, **lernen** → **gelernt** (学ぶ), **lieben** → **geliebt** (愛する), **essen** → **gegessen** (食べる) など, いくつかのものをみてきました。

この過去分詞は, 英語と同じく **haben** (持つ), または **sein** (である) と結びついて完了形をつくります。

Ich habe es gesehen.  
イッヒ ハーベ エス ゲゼーエン

⇒ I have seen it.

訳 私は(それを)見た。

Ich bin gekommen.  
イッヒ ピン ゲコメン

⇒ I have come.

訳 私は来た。

どういう動詞が **haben** でなく **sein** と結びつくかは, 121 ページの「現在完了」の項目で説明します。

過去分詞はまた, 名詞と結びついて形容詞にもなります。

**das verbotene Spiel**

(verbieten, 禁じる)

⇒ the forbidden play

(forbid, 禁じる)

訳 禁じられた遊び

練習問題-18

下に不定詞とそれぞれの過去分詞が挙げてあります。

不定詞と過去分詞を正しく結んでみましょう。

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| • kommen (来る)   | • gehabt     |
| • sehen (見る)    | • gekommen   |
| • lieben (愛する)  | • gewesen    |
| • gehen (行<)    | • gesprochen |
| • haben (持つ)    | • gesehen    |
| • sein (ある)     | • geliebt    |
| • sprechen (話す) | • gesungen   |
| • singen (歌う)   | • gegangen   |

---

解 答

---

kommen → gekommen, sehen → gesehen

lieben → geliebt, gehen → gegangen

haben → gehabt, sein → gewesen

sprechen → gesprochen

singen → gesungen



## 14 未来形と受動態を つくる **werden**

**werden** (ヴェーアデン) という言葉には、いろいろな働きがあります。

①英語の **become** (なる) という意味の動詞になります。

**Er wird Arzt.**  
エア ヴィルト アールツト

彼は医者になる。

**Es wird Nacht.**  
エス ヴィルト ナハト

夜になる。

②英語の **will**・**shall** のように、未来形をつくります。

**Mein Freund Hans wird euch besuchen.**  
マイン フロイント ハンス ヴィルト オイヒ ベスーヘン

私の友人のハンスは君たちを訪れるだろう。

③ **werden** + 過去分詞で受動態をつくります。

英語でいえば、**be** 動詞 + 過去分詞 (= **sein** + 過去分詞)  
となるところですが、ドイツ語では違います。

**Er macht das Fenster kaputt.**  
エア マハト ダス フェンスター カブット

彼は窓を壊す。

この能動態の文章を *werden* を使って受動態にすると、  
つぎのようになります。

**Das Fenster wird von ihm kaputtgemacht.**  
ダス フェンスター ヴィルト フォン イーム カブット ゲマハト

→ The window is broken by him.

訳 窓が彼によって壊される。

以上、 *wird* には

- ①～になる
- ②～だろう
- ③～される

の 3 つの使い方がありますが、 いずれの場合もつぎのよう  
な人称変化をします。

	单 数	複 数
1 人称	ich werde イッヒ ヴェーアデ	wir werden ヴィーア ヴェーアデン
2 人称	du wirst ドゥ ヴィルスト	ihr werdet イーア ヴェーアデット
3 人称	er wird エア ヴィルト	sie werden ズイー ヴェーアデン

動詞としての *werden* は、 *du* と *er* のときに *e* → *i* と変化します。過去形は **wurde**、 過去分詞が **geworden** です。

<b>werden</b>	<b>du wirst</b>	<b>wurde</b> (過去形)	<b>geworden</b> (過去分詞)
---------------	-----------------	-----------------------	---------------------------

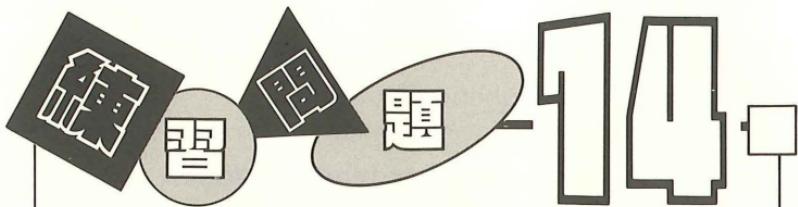
したがって受動態の過去は、 *wurde* が用いられてつぎの

ようになります。(loben・ほめる)

Der Sohn wurde von seiner Mutter gelobt.  
デア ゾーン ヴルデ フォン ザイナア ムツタア ゲローブト

息子は(彼の)母親にほめられた。





つぎの文を訳してみましょう。

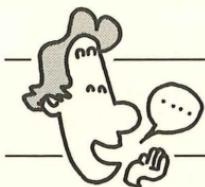
1. Ich will sie heiraten.
2. Mein Freund wird euch besuchen.
3. Er wird fleißig Deutsch lernen.
4. Ein Brief wird von ihr geschrieben.
5. Ein Buch wurde mir von ihm gegeben.
6. Das Zimmer wurde mit Blumen geschmückt.

---

解 答

---

1. 私は彼女と結婚するつもりだ (未来形)。
2. 私の友人は君たちを訪れるだろう (未来形)。
3. 彼は熱心にドイツ語を学ぶだろう (未来形)。
4. 手紙が彼女によって書かれる (受動態)。
5. 本が彼によって私に与えられた (受動態)。
6. 部屋が花で飾られた (受動態)。



## 15 現在完了

ドイツ語の完了形と英語の完了形は、とても似ています。

	ドイツ語	英語
現在完了	<b>haben</b> ハーベン sein ザイン	<b>have + 過去分詞</b>
過去完了	<b>hatte</b> ハッテ war ヴァール	<b>had + 過去分詞</b>
未来完了	<b>werden</b> ヴェーアデン + <b>haben</b> ハーベン + <b>sein</b> ザイン	<b>will + 過去分詞</b> <b>shall + 過去分詞</b>

ドイツ語が助動詞として *haben* のほかに *sein* も用いる点が、英語と異なります。

まず現在完了についてその人称変化を見、つぎに *haben* を使った完了形、*sein* を使った完了形の例文を読むことにしましょう。

## sehen (見る)

ゼーエン

ich habe  
ハーベ  
du hast  
ハスト  
er hat  
ハット

gesehen  
ゲゼーエン

wir haben  
ハーベン  
ihr habt  
ハーブト  
sie haben  
ハーベン

gesehen  
ゲゼーエン

大部分の動詞は **haben** を完了の助動詞とします。

Sie hat ihr Wörterbuch verloren.

スイ ハット イア ヴェルターブフ フェアローレン

彼女は（彼女の）辞典をなくしてしまった。

## kommen (来る)

コメン

ich bin  
ピン  
du bist  
ピスト  
er ist  
イスト

gekommen  
ゲコメン

wir sind  
ズイント  
ihr seid  
ザイト  
sie sind  
ズイント

gekommen  
ゲコメン

**sein** を完了の助動詞としてとるのは、「場所の移動」と  
「状態の変化」を表す自動詞です。

Der Frühling ist gekommen.

デア フリューリング イスト ゲコメン

春が来た。

**sein** を完了の助動詞としてとる自動詞をつぎに挙げま

す。

a) 「場所の移動」を表す自動詞の代表的な例

<b>fahren</b> ファーレン	車で行く
<b>fallen</b> ファレン	落ちる
<b>fliegen</b> フリーゲン	飛ぶ
<b>gehen</b> ゲーエン	行く
<b>kommen</b> コメン	来る
<b>laufen</b> ラウフエン	走る
<b>sinken</b> ズインケン	沈む
<b>steigen</b> シュタイゲン	のぼる

b) 「状態の変化」を表す自動詞の代表的な例

<b>aufstehen</b> アオフシュテーエン	起きる
<b>einschlafen</b> アインシュラーフエン	眠り込む
<b>erwachen</b> エアヴァッヘン	目ざめる
<b>geschehen</b> ゲシェーエン	起こる
<b>reifen</b> ライフェン	熟する
<b>sterben</b> シュテルベン	死ぬ

wachsen  
ヴァクセン

成長する

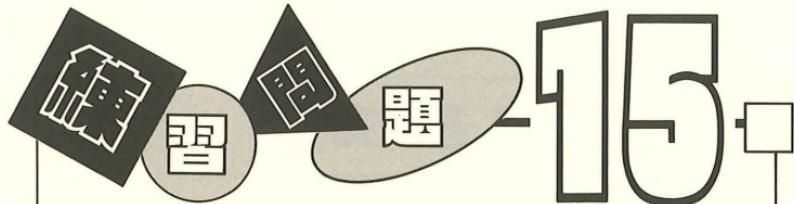
werden  
ヴェーアデン

なる

最後にもう一度繰り返すと、過去完了は、英語の「had + 過去分詞」と同じ「**haben** の過去十過去分詞」でつくる形と、「場所の移動」と「状態の変化」を示す動詞の場合の「**sein** の過去十過去分詞」でつくる形があります。

しかし、**sein** は「場所の移動」と「状態の変化」を示す動詞だけでなく、**bleiben** (滞在する) といった特殊な動詞とも結びついて完了形をつくります。





つきの文を訳してみましょう。

1. Ich bin einmal in Deutschland gewesen.
2. Der Frühling ist gekommen.
3. Ich habe den Brief geschrieben.
4. Sie ist auf den Turm gestiegen.
5. Er hat gestern mit ihr getanzt.
6. Er ist nach Berlin abgefahren.

---

解 答

---

1. 私はドイツにいたことがある (**gewesen** は **sein** の過去分詞です)。
2. 春が来た。
3. 私は手紙を書いてしまった。
4. 彼女は塔に登った。
5. 彼はきのう彼女と踊った。
6. 彼はベルリンへ出発した。



## 16 過去完了

過去完了は英語と同じく、物事が過去のある時点までに完了していることを示し、**hatte(war)**十過去分詞の形をとります（つまり現在完了と同様 haben と sein の 2 つの形があるわけです）。

### sehen (見る)

ゼーエン

ich hatte  
ハッテ  
du hattest  
ハッテスト  
er hatte  
ハッテ

gesehen  
ゲゼーエン

wir hatten  
ハッテン  
ihr hatte  
ハッテット  
sie hatten  
ハッテン

gesehen  
ゲゼーエン

このように過去完了も、**gesehen**（ゲゼーエン）という過去分詞をとります。ich hatte, du hattest …という haben(持つ)の過去形の人称変化に、過去分詞が加わるわけです。なお、haben の過去分詞は **gehabt**（ゲハーブト）、sein の過去分詞は **gewesen**（ゲヴェーゼン）です。

Er ist nach Amerika gefahren, kurz nachdem er  
エア イスト ナーハ アメリカ ゲファーレン クルツ ナーハデーム エア

seine Arbeitsstelle verlassen hatte.  
ザイネ アルバイトシュテレ フェアラッセン ハッテ

彼は勤め先をやめて（やめるとすぐに・過去完了）、アメリカへ行つた（現在完了）。

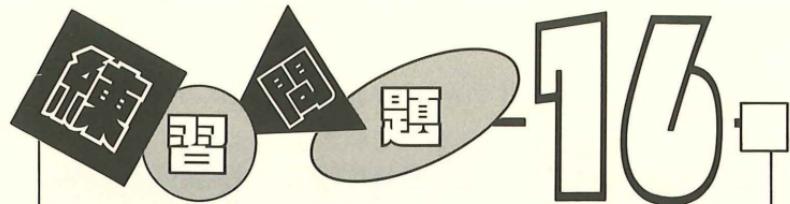
ではつぎに, **sein**(である)の過去形に過去分詞をプラスしてつくる, 過去完了形をみていきましょう。

### kommen (来る)

ich war	gekommen	wir waren
du warst		ihr wart
er war		sie waren

Als er ankam, war der Zug schon abgefahren.  
アルス エア アンカーム ウアール デア ツーグ ショーン アップゲファーレン

彼が到着した(過去)とき, 列車はもう出た(過去完了)あとだつた。



つきの文を訳してみましょう。

1. Vorgestern habe ich sie gesehen.
2. Er ist schon eine Stunde geschwommen.
3. Gestern abend sind wir ins Kino gegangen.
4. Er hatte schon das Buch gelesen, als ich ihn besuchte.
5. Nachdem der Vater gestorben war, entstand ein Streit unter ihnen.

---

解 答

---

1. 私はおととい彼女に会った。
2. 彼はもう1時間泳いだ。
3. 私たちは昨晚映画に行った。
4. 私が彼を訪れたとき、彼はもう本を読んでしまっていた。
5. 父が死んだのち、彼らのあいだに争いが起こった。



## 17 未来完了

ドイツ語の未来完了も英語と同じく、未来のある時点までに完了しているであろう動作を述べます。形も「I shall have+過去分詞」と同じで、**ich werde+過去分詞+haben**（私は～してしまっているでしょう）となります。

なお、未来完了にもまた、**haben**をとるもの、**sein**をとるものと2つの形があります。

### sehen (見る)

ゼーエン

ich werde  
ヴェーアデ  
du wirst  
ヴィルスト  
er wird  
ヴィルト

gesehen  
haben

wir werden  
ヴェーアデン  
ihr werdet  
ヴェーアデット  
sie werden  
ヴェーアデン

gesehen  
haben

**sein**と結びつく動詞 **kommen**（来る）の未来完了は、  
**werden+gekommen sein** です。

では、実際に例文を見ていきましょう。

Morgen nachmittag werde ich diese Arbeit beendet  
モルゲン ナーハミッターグ ヴェーアデ イッヒ ティーゼ アルバイト ベエンデット

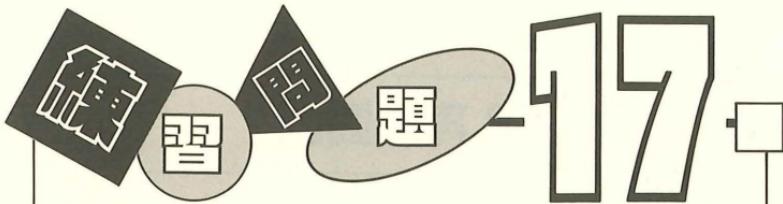
haben.  
ハーベン

あすの午後にはこの仕事は終わっているだろう。

Der Arzt wird um sechs von Bonn abgefahren sein.  
デア アールツト ヴィルト ウム ゼックス フォン ボン アップゲファーレン ザイン

その医師は 6 時にボンを出発しているだろう。





つぎの文を訳してみましょう。

1. Bis morgen wird er das geschafft haben.
2. Das Baby wird schon eingeschlafen sein.
3. Morgen nachmittag werde ich diesen Roman gelesen haben.
4. Morgen um diese Zeit werde ich Ihren Wagen repariert haben.
5. Bis ihr hierher kommt, wird der Schnee schon geschmolzen sein.

---

解 答

---

1. 彼は明日までにそれをやりとげているだろう。
2. 赤ん坊はもう寝込んでしまっているだろう。
3. 明日の午後には私はこの小説を読んでしまっているだろう。
4. 明日の今ごろには私はあなたの車を修理してしまっているだろう。
5. 君たちがここへ来るまでに、雪はとけてしまっているだろう。



## 18 再帰動詞

下の文の **mich** は形としては, **ich** の 4 格と同じですが, 意味は「私を」ではなくて「私自身」となります。つまり, 英語で言えば **myself** にあたります。

**sich** は主語に応じて (再帰代名詞と呼びます), 「私」が **mich** ( $\leftarrow$  **ich**), 「君」が **dich** ( $\leftarrow$  **du**), 「彼」が **sich** ( $\leftarrow$  **er**), 「私たち」が **uns** ( $\leftarrow$  **wir**), 「君たち」が **euch** ( $\leftarrow$  **ihr**), 「彼 (彼女・それ) ら」が **sich** ( $\leftarrow$  **sie**) となります。

このように **sich** (英・oneself) を伴って主語の動作が再び主語に帰ることを表す動詞を, **再帰動詞**と言います。

Ich **fühle** **mich** nicht **wohl**.  
イッヒ フューレ ミッヒ ニヒト ヴォール

→ I don't feel well.

訳 私は気分がすぐれません。

つぎの文の 1) の **mich** は人称代名詞で, 2) の **sich** は再帰代名詞です。

1) **Er liebt mich.** 彼は私を愛する。

2) **Er liebt sich.** 彼は彼自身を愛する。

再帰動詞の過去形を挙げます。

Die Mutter **setzte** **sich** **auf** **das** **Sofa**.  
ディー ムッタツ セツツテ スイッヒ アオフ ダス ゾーフア

→ The mother settled herself on the sofa.

訳 母はソファに座った。

settled herself は、「どっかりと腰を落ち着けた」という意味ですが、seat（座る）は再帰動詞として用いられないなので、あえて、seat → settle として訳しました。

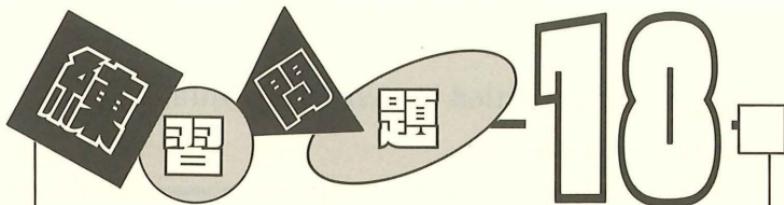
また、再帰動詞にはmirやsichなど3格の再帰代名詞を伴うものもあります。

Stellen Sie sich bitte vor.

シュテレン ズイー ズイッヒ ピッテ フォーア

どうぞ想像してください。(sichは3格)





つぎの文を訳してみましょう。

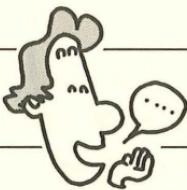
1. Ich freue mich sehr, Sie kennenzulernen.
2. Wir freuen uns über deinen Erfolg.
3. Er erholt sich im Urlaub.
4. Der Vater setzte sich auf die Bank.
5. Ich kann mir seinen Namen nicht merken.
6. Das kann ich mir gut vorstellen.

---

解 答

---

1. あなたと知り合いになれて、私はたいへんうれしい。
2. 私たちは君の成功を喜ぶ。
3. 彼は休暇のあいだ休養する。
4. 父はベンチの上に腰を下ろした。
5. 私は彼の名をおぼえることができない。
6. 私はそれを十分想像することができる。



## 19 非人称動詞

自然現象や心理状態を述べるときは、人称代名詞の **es** を主語として用います。

この場合、**es** は文として必要であるために用いられており、「それ」とは訳さないので、**非人称主語**と呼びます。

用いられる動詞はかならず**3人称単数**が使われ、その動詞は**非人称動詞**と呼ばれます。

**Es regnet.**  
エス レーグネット

It is raining.

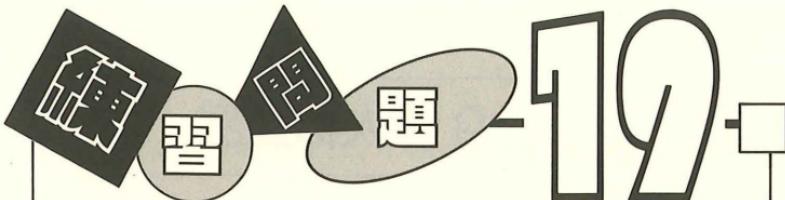
雨が降る。

**schneit** (雪が降る), **dunkelt** (暗くなる), **friert** (氷が張る), **donnert** (雷が鳴る), **blitzt** (いなずまが光る) なども同様に **es** を主語として表現します。

心理、すなわち感情や感覚を述べるときは、動詞によつて心理の主体が**3格**または**4格**になります。

**Es freut mich(dich, ihn…)** .  
エス フロイト ミッヒ

私 (君・彼… ) はうれしい。



つぎの文を訳してみましょう。

1. Es schneit.
2. Heute regnet es seit dem Morgen.
3. Es gibt auch manchmal einen Sturm.
4. Heute ist es mir kalt.
5. Es friert mich.
6. Es grünt und blüht bereits überall.

---

解 答

---

1. 雪が降る。
2. きょうは朝から雨が降っている。
3. ときどき暴風雨もある。
4. きょうは私は寒い。
5. 私は寒い。
6. すでにいたるところで緑が芽をふき、花が咲いている。



## 20 分離動詞

**ankommen** (到着する) の **an** や **zurückkommen** (帰る, 戻る) の **zurück** には, **kommen** よりも強いアクセントがあります。このような動詞の前綴りは, 動詞の本体から分離して文の終わりに置かれます。

**aufstehen** (立ち上がる) → **stehen~auf**

**kennenlernen** (知合いになる) → **lernen~kennen**

**teilnehmen** (参加する) → **nehmen~teil**

そのほか, **ab**, **zu**, **ein** などが動詞から分離します。

では, 実際の文章で例をみていきましょう。つぎのように, 主文のなかの動詞が分離します。

**Er kommt heute von der Reise zurück.** (正置)  
エア コムト ホイテ フォン デア ライゼ ツリュック

彼は旅行からきよう戻る。

**Heute kommt er von der Reise zurück.** (倒置)  
ホイテ コムト エア フォン デア ライゼ ツリュック

きよう彼は旅行から戻る。

**Komm sofort von der Reise zurück!** (命令)  
コム ゾフォアト フォン デア ライゼ ツリュック

ただちに旅行から戻れ。

接続詞に導かれる副文 (つぎの文の *daß* 以下の文) のなかの動詞は, 分離しないで文末に後置されます。

Ich weiß, daß er heute von der Reise zurückkommt.  
イッヒ ヴァイス ダス エア ホイテ フォン デア ライゼ ツリュックコムト

私は彼がきよう旅行から戻ることを知っている。

分離動詞の多くは、その基本となる動詞から派生した意味を持ちます。たとえば kommen (来る) の意味から派生した **ankommen** (到着する) や **zurückkommen** (戻る) などがそうです。しかしながらには、auf etwas ankommen (何かに依存する) のように、基本となる動詞「来る」の意味を持たない語もあります。

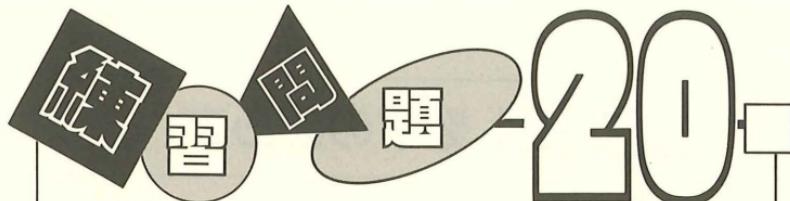
Es kommt auf das Wetter an.  
エス コムト アオフ ダス ヴェッタア アン

お天気しだいです。

またこれらの分離動詞は、話法の助動詞 (können や müssen) が入ると文末に不定詞のまま置かれます。

Ich muß ihn heute abend anrufen.  
イッヒ ムス イーン ホイテ アーベント アンルーフェン

今晚彼に電話をしなければなりません。



つぎの文を訳してみましょう。

1. Ich stehe früh auf.
2. Er steht jeden Morgen früh auf.
3. Der Zug fährt durch.
4. Er kommt heute von der Reise zurück.
5. Er setzt die Leute mit seinem Boot über.
6. Er übersetzt diesen Roman ins Japanische.

---

解 答

---

1. 私は早く起きる。
2. 彼は毎朝早く起きる。
3. その汽車は通りすぎる。
4. 彼は旅行からきょう戻る。
5. 彼は人々をボートで向こう岸へ渡す。
6. 彼はこの小説を日本語に翻訳する。



## 21 数字の読み方

数字には1, 2, 3…(英語のone, two, three… )という基数, つまり**基**になる数字と, 1**ばん**目, 2**ばん**目, 3**ばん**目…(英語のfirst, second, third… )という序数, つまり順序を示す数字とがあります。この2つをまとめて数詞と呼びます。

### 基数

1 eins アインス	11 elf エルフ
2 zwei ツヴァイ	12 zwölf ツヴェルフ
3 drei ドライ	13 dreizehn ドライツェーン
4 vier フィア	14 vierzehn フィアツェーン
5 fünf フュンフ	15 fünfzehn フュンフツェーン
6 sechs セックス	16 sechzehn ゼヒツェーン
7 sieben ズィーベン	17 siebzehn ズィーブツェーン
8 acht アハト	18 achtzehn アハツェーン
9 neun ノイン	19 neunzehn ノインツェーン
10 zehn ツェーン	20 zwanzig ツヴァンツィヒ

21	<b>einundzwanzig</b> アインウントツヴァンツィヒ	40	<b>vierzig</b> フィアツィヒ
22	<b>zweiundzwanzig</b> ツヴァイウントツヴァンツィヒ	50	<b>fünfzig</b> フュンフツィヒ
23	<b>dreiundzwanzig</b> ドライウントツヴァンツィヒ	100	<b>(ein)hundert</b> アイン フンダート
24	<b>vierundzwanzig</b> フィーアウントツヴァンツィヒ	101	<b>hunderteins</b> フンダートアインス
25	<b>fünfundzwanzig</b> フュンフウントツヴァンツィヒ	1000	<b>(ein)tausend</b> アイン タオゼント
30	<b>dreißig</b> ドライスィヒ	10000	<b>zehntausend</b> ツェーンタオゼント

つぎに序数を挙げます。基数と同じところと違うところを、よく注意しておぼえてください。

## 序数

1	<b>erst</b> エースト	9	<b>neunt</b> ノイント
2	<b>zweit</b> ツヴァイト	10	<b>zehnt</b> ツェーント
3	<b>dritt</b> ドリット	11	<b>elft</b> エルフト
4	<b>viert</b> フィーアト	12	<b>zwölft</b> ツヴェルフト
5	<b>fünft</b> フュンフト	13	<b>dreizehnt</b> ドライツェーント
6	<b>sechst</b> セックスト	14	<b>vierzehnt</b> フィアツェーント
7	<b>siebt</b> ズィーブト	15	<b>fünfzehnt</b> フュンフツェーント
8	<b>acht</b> アハト	16	<b>sechzehnt</b> ゼヒツェーント

17	<b>siebzehnt</b> ズイーブツェント	25	<b>fünfundzwanzigst</b> フュンフウントツヴァンツィヒスト
18	<b>achtzehnt</b> アハツェント	30	<b>dreißigst</b> ドライツィヒスト
19	<b>neunzehnt</b> ノインツェント	40	<b>vierzigst</b> ファツィヒスト
20	<b>zwanzigst</b> ツヴァンツィヒスト	50	<b>fünfzigst</b> フュンフツィヒスト
21	<b>einundzwanzigst</b> AINUNDツヴァンツィヒスト	100	<b>hundertst</b> フンダツト
22	<b>zweiundzwanzigst</b> ツヴァイウントツヴァンツィヒスト	101	<b>hundert[und]erst</b> フンダアト[ウント]エースト
23	<b>dreiundzwanzigst</b> ドライウントツヴァンツィヒスト	1000	<b>tausendst</b> タオゼンツト
24	<b>vierundzwanzigst</b> フィーアウントツヴァンツィヒスト	10000	<b>zehntausendst</b> ツェーンタオゼンツト

ではつぎに、注意すべき数字、日常よく使われる数字の読み方を挙げます。

- 3 マルク 60ペニヒ …… **drei Mark und sechzig Pfennig**
- 4 時 5 分すぎです ..... **Es ist fünf nach vier.**
- 12時30分すぎです ..... **Es ist halb eins.**
- トマト 2 kg ..... **zwei Kilo Tomaten**
- サクランボ 2 ポンド ..... **zwei Pfund Kirschen**
- 私は19歳です ..... **Ich bin neunzehn Jahre alt.**
- 1972年 ..... **Neunzehnhundertzweiundsiebzig**

以上、ドイツ語を学ぶうえで必要最小限の文法を学習してきました。しかし、それですぐに文がスラスラ読めるというわけにはいきません。たくさんの文章に慣れて、はじめて読解力が身につくのです。何度も繰り返し練習する努力を忘れないでください。

さて、つぎの4章は、明日から役に立つ会話の学習です。ドイツ語は音の区切りが明確ですから、英語よりもわかりやすいはずです。





# 4

## 簡単な会話をマスターしよう

この章では、別売のカセットをぜひ活用してください。あなたのペースに合わせて、ときどきカセットを止めては本の説明を読み、またテープのヒアリングを繰り返すうちに、一つの間にかドイツ語がすらすらと口から出るようになります。



## 旅行もホームステイもまずこれから

## 会話の基本となる言葉

- はい ..... **Ja.**  
ヤー
- いいえ ..... **Nein.**  
ナイ
- こんにちは ..... **Guten Tag.**  
グーテン ターク
- さようなら ..... **Auf Wiedersehen.**  
アオフ ヴィーダーアゼーエン
- Tschüß.  
チュス
- またあとで ..... **Bis später.**  
ビス シュベーター
- Bis nachher.  
ビス ナーハヘーフ
- ありがとうございます ..... **Vielen Dank.**  
フィーレン ダンク
- Danke schön.  
ダンケ シェーン
- どういたしまして ..... **Bitte schön.**  
ピッテ シェーン
- Bitte sehr.  
ピッテ ゼーア
- 何ですか ..... **Was ?**  
ヴァス
- 誰が ..... **Wer ?**  
ヴェーア
- どこへ ..... **Wohin ?**  
ヴォーヒン

- ❑ どこから ..... **Woher ?**  
ヴォーヘーア
- ❑ いつ, 何時に ..... **Wann ?**  
ヴァン
- ❑ どこで ..... **Wo ?**  
ヴォー
- ❑ なぜ ..... **Warum ?**  
ヴァルム
- ❑ いくらですか ..... **Was kostet das ?**  
ヴァス コステット ダス



## 会話の基本となる表現

1

何ですって？

Wie bitte ?  
ヴィー ピッテ

wie は英語の how にあたり、どのようなという意味です。相手にもう一度繰り返してもらいたいときに用います。

2

もう一度お願ひします。

Nochmal (=Noch einmal) bitte.  
ノッホマール ノッホ アインマール ピッテ

1 の wie bitte をはっきりともう一度、とお願ひするときの表現です。言葉だけでなく、行為をもう一度繰り返してほしい場合の表現としても使えます。

3

ゆっくりお願ひします。

Langsam bitte.  
ラングザーム ピッテ

langsam (ゆっくり)、schnell (すばやく) などいづれも形容詞です。

4

1 つ (個) ください。

Einen (Eine, Eins) bitte.  
アイネン アイネ アインス ピッテ

bitte は danke と共に最もよく使われる表現で、英語の please, thank you にあたります。「どういたしまして」の表現でも Bitte schön, Bitte sehr と使われました。

Einen や eine, eins は不定代名詞です。このほか、einmal bitte (1つください) という表現も使えます。

# 5

これをください。

Ich möchte das.  
イッヒ メヒテ ダス

直訳すると「私はそれをほしい」になります。**möchte**は  
**mögen**（助動詞、かもしれない）の過去形mochteが変音  
してmöchteとなった接続法II式の形で（接続法について  
は108ページで説明しました）、きわめてていねいな言い方  
です。**das**は、定冠詞にもありますが、ここでは指示代名詞  
として単独で使われます。**それ、これ、**の意味です。欲し  
いものを指さしてこう言えば間違いなく通じます。

# 6

すみませんが。／失礼ですが。

Entschuldigen Sie bitte.  
エントシュルディゲン ズイー ピッテ

英語の excuse にあたるのが**entschuldigen**です。**Sie**が  
主語で、ていねいな命令の表現です。ドイツ語で一番最初  
におぼえるべき表現の1つと言えます。

# 7

さようなら、楽しい夕べを

Einen schönen Feierabend.  
アイネン シェーネン ファイアーハーベント

**schön**はすばらしいという意味の形容詞で、-en がつい  
ているので4格です。**Feierabend**は日本語には訳しにく  
い単語ですが、1日の仕事が終った後の時間を指しま  
す。つまり、学校では放課後、会社ではアフターファイブ  
(終業後)のことです。1日の仕事を終えて帰宅する人が上  
司や同僚に対してさようならの意味でこの表現を使います。

## 8

すばらしい週末を。

**Ein schönes Wochenende.**

アイン シェーネス ヴォヘンエンデ

週末にはこの言い方を使います。**Wochenende**(週末)  
は中性名詞、4格です。

## 9

うれしいです。

**Es freut mich.**

エス フロイト ミッヒ

直訳すると、es(それ)がmich(4格)をfreut(喜ばせる)するとなります。食事に招かれたり、プレゼントをもらったときに使う言葉です。おぼえておくと便利な表現ですから、ぜひ暗記しておきましょう。



## レストランで

1

さあ召し上がりつてください。

**Guten Appetit.**

グーテン アペティート

直訳は、よい (gut), 食欲を (Appetit) となり, guten の語尾の-en により Appetit が 4 格であることがわかります。ドイツでは食べる前に招いた人がまずこのように言いますが、招かれた人も同じように言います。また、家庭で食事をする場合も同じです。

2

ありがとうございます、あなたも同じように  
(召し上がり)。

**Danke, gleichfalls.**

ダンケ グライヒファルス

danke は danken (感謝する) の主語 (ich) が省略された形, gleichfalls は副詞で同じようにの意味です。相手と同じ気持ちである場合や感謝の表現をそっくり相手に返したいときの表現です。ですから、たとえば別れるときに、"さようなら、気をつけて" と言われた場合、この表現をそっくりそのまま使えばよいのですし、食事のときの、召し上がってくださいのお返しにもこの表現がぴったりです。

### 3

おいしいですか？

はい。とてもおいしいです。

**Schmeckt es Ihnen (dir) ?**

シュメックト エス イーネン ディーア

**Ja, es schmeckt mir sehr gut.**

ヤー エス シュメックト ミーア ゼーア グート

かならずおぼえておきたい表現の1つです。

**schmecken**という動詞は、非人称の**es**を主語にして使う  
シュメックン  
ことがほとんどです。その場合、意味上の主語=おいしく  
感じる人は3格で表します。ここでは**mir**がきています。で  
すから、「おいしいですか？」にあたるドイツ語の  
Schmeckt es ? は、"あなたにとって"の3格Ihnenが入っ  
シュメックト エス イーネン  
て、**Schmeckt es Ihnen ?**としたほうがより正確な文とな  
ります。

### 4

いいえ、もう結構です。

**Nein, es reicht mir.**

ナイン エス ライヒト ミーア

動詞**reichen**(足りる、十分である)も、非人称の**es**を主  
ライヒエン  
語にして、人の3格を意味上の主語にとります。1格の**ich**  
エス  
は使いません。何かすすめられたときの断りの表現で、食  
事以外の場合も「もう結構です」の意味でこの言い方が使  
われます。

## 5

ほんの少し，お願ひします。

**Ein bißchen bitte.**

アイン ビスヒエン ピッテ

**ein bißchen**は，この形のままで，ほんの少し，ちよつとの意味でよく使われます。同じく，**ein wenig**とも言います。

## 6

あとで，コーヒーをください。

**Nachher einen Kaffee bitte.**

ナーハーハー アイネン カフェー ピッテ

**nachher**は副詞で，あとでの意味，**Kaffee**は男性名詞，  
ナーハーハー カフェー  
**einen**がついていますから4格です。正式にはコーヒー1  
アイネン  
杯は**eine Tasse Kaffee**ですが，このように省略して使わ  
アイネ タッセ カフェー  
れることがよくあります。

## 7

仔牛のカツとポテトサラダ，ライスつきでお願  
いします。

**Ich nehme ein Kalbschnitzel mit Reis**

イッヒ ネーメ アイン カルブシュニッツェル ミット ライス

**und einem Kartoffelsalat.**

ウント アイネム カルトッフェルザラート

これはドイツのレストランでもっとも日本人の口に合いそうなメニューの1つです。ドイツの**Kartoffeln**(じゃがいも)はとても有名ですね。**Schnitzel**はパン粉の衣のついたカツです。このほか，**Kalbsbraten**(仔牛のステーキ)もおすすめ品です。**nehmen**は英語の**take**にあたります。

また，**Suppe**(スープ，女性名詞)には

**8** 玉ねぎスープ

**Zwiebelsuppe**  
ツヴィーベルズッペ

**9** 肉入りシチュー

**Gulaschsuppe**  
グラシュズッペ

などがあります。

スープが出たついでに飲み物の説明もしましょう。

**10** ミネラルウォーター

**Mineralwasser**  
ミネラルヴァッサー

オレンジジュース

**Orangensaft**  
オランジエンザフト

たとえば、オレンジジュースを注文したいときには、

**Orangensaft bitte.** と言います。  
オランジエンザフト ピッテ



## 街角で

すみません、中央駅にはどう行つたらよいですか。

1

**Entschuldigung, wie komme ich zum**

エントシュルディング ウィー コメ イッヒ ツム

**Hauptbahnhof ?**

ハオプトバーンホーフ

**Entschuldigung**は失礼、失敬にあたる名詞。**zu**は～へ  
エントシュルディング  
の意味の前置詞で、あとに3格の名詞や代名詞が来ます。

**Hauptbahnhof**は男性名詞、中央駅です。ドイツに旅行に行  
ハオプトバーンホーフ  
った際、実際に使いそうな言葉をつぎのページに挙げてお  
きましょう。上記の文章の**Zum Hauptbahnhof** (中央駅に  
ツム ハオプトバーンホーフ  
は) の部分にあてはめて使います。

## 2

見本市会場には **zum Messeplatz** (男性名詞)  
ツム メッセプラツツ

放送展覧会場には

**zur Rundfunkschau** (女性名詞)  
ツーア ルントフンクシャウ

郵便局には

**zur Post** (女性名詞)  
ツーア ポスト

宮殿前の広場には

**zum Schloßplatz** (男性名詞)  
ツム シュロスプラツツ

オリンピックスタジアムには

**zum Olympiastadion** (中性名詞)  
ツム オリュムピアシュターディオン

地下鉄の駅には

**zur U-Bahnstation** (女性名詞)  
ツーア ウーバーンシュタッソーン

入口には

**zum Eingang** (男性名詞)  
ツム アインガング

出口には

**zum Ausgang** (男性名詞)  
ツム アウスガング

また、これらの表現の後に**bitte**をつければ、タクシーに  
乗るときにもそのまま使えます。

# 3

焼きソーセージとパン1つ、それに（コカ）コーラを1つください。

**Ich hätte gern eine Bratwurst mit**

**Brötchen und eine Cola bitte.**

イッヒ ヘッテ ゲルン アイネ ブラートヴルスト ミット  
ブレートヒエン ウント アイネ コーラ ピッテ

街角のソーセージ売りの店で使う表現です。Ich möchtenでもよいのですが、買物のときにはこのIch hätteがよく使われます。接続法II式を使った非常にていねいな言い方です。Bratwurstは焼きソーセージのこと、ゆでソーセージはBockwurstと言います。mitは英語の with にあたり～つき、Brötchenはアンパンのような小さいパンのことです。コーラはColaと書き、女性名詞。hätte(～したい)の目的語はみな、4格になります。また、hätteは上の文のようにgern (好んで、副詞) とともによく使われます。



## 駅の窓口で

1

ハンブルクまで片道を2枚、インターミティー急行でお願いします。

**Zweimal nach Hamburg, einfach, mit**

ツヴァイマール ナーハ ハンブルク アインファッハ ミット

**I C-Zuschlag bitte.**

イーツェーツーシュラーク ピッテ

行く先を示す **nach** はつけなくても大丈夫です。

ナーハ

片道は **einfach**、往復の場合には **hin und zurück** と言います。

アインファッハ

ヒン ウント ツリュック

す。**I C** (インターミティー) 急行は高速鉄道です。

イーツェー

**Zuschlag** は割り増し券、急行券のことです。ドイツでは汽車の中で切符を買うことはしません。他の交通機関もそう

ですが、切符を持たないで乗車すると不正乗車

(**Schwarzfahrt**) になり、罰金や割増料金をとられます。

シュヴァルツファーツ

時々 檢札官 (**Kontrolleur**) がやってきて取り締まっていま

コントロレアー

す。また、ドイツの駅の切符売り場にはほとんどいつも数

人のお客様が並んでいますから、遅くとも発車の20分前には

駅の窓口 (**Schalter**) に行くことをおすすめします。

シャルタア

## 2

ベルリンのツォー駅まで行くのですが、どこで乗り換えですか。

**Ich fahre nach Berlin, Bahnhof Zoo. Wo**

イッヒ ファーレ ナーハ ベアリーン バーンホーフ ツォー ヴォー

**kann ich da umsteigen ?**

カン イッヒ ダー ウムシュタイゲン

ベルリンのZoo駅は有名ですね。kannは助動詞**können**  
(～できる)の定形です。**umsteigen**は乗り換えるの意味  
の分離動詞です(分離動詞の詳しい説明は137ページをみて  
ください)。

ドイツの駅には、**発車時刻表** (**Abfahrt**表) があちこちに貼ってあります。自分の乗りたい時刻のところを見ればすべての列車のリストがその発車順に示されています。なお、駅の何番線にあたる表現は、ドイツではホームではなく、**Gleis** (中性名詞) です。3番線でしたら**Gleis 3** です。

さらに、月曜日から金曜日までの**週日** (**Werktag**) と日曜、祭日 (**Feiertag**) では時刻表にずれがあるときもあります。注意しましょう。



## デパートなどの店内で

すみません。あなたはこちらの店員さんですか。

1

**Entschuldigung, sind Sie hier**  
エントシュルディング ズイント ズイー ヒーア

**zuständig ?**  
ツーシュテンディヒ

店内で誰にたずねたらよいかわからないとき、店員らしき人に問いかける表現です。**zuständig** はまかされている、担当している、の意味の形容詞です。

ちょっと店内を見たいだけなのですが、よろしいですか。

2

**Könnte ich mich ein wenig**  
ケンテ イッヒ ミッヒ アイン ヴェーニッヒ

**umsehen ?**  
ウム ゼーエン

**könnte** は können ～できるの過去形 konnte が変音した  
ケンテ コンテ  
もので、**möchte, hätte** と同じくていねいな表現です。  
メヒテ ヘッテ

**umsehen** はあちこち見るという動詞です。  
ウム ゼーエン

試着していいですか。

3

**Darf ich anprobieren ?**  
ダルフ イッヒ アンプロビーレン

衣類などを試着するときは、**probieren** (～を試しにやってみる) という動詞に **an** をつけた **anprobieren** を用います。これは分離動詞ですが、話法の助動詞 **darf** があるため分  
プロビーレン  
アンプロビーレン  
ダルフ

離しません。**darf** は～してよいかの意味で使われます。

大きい（小さい）サイズはありますか。

**4 Hätten Sie noch etwas größeres (kleineres) ?**

大きい・小さいは**groß**・**klein**でした。その比較級は -er がついて **größer**（この言葉は変音します）と **kleiner** になります。この文章では **größer** も **kleiner** も **hätten** (haben の接続法II式, ていねいな表現で4格を支配する点は同じです) の目的語ですから, **etwas größeres** は何かより大きなものを, となります。このように **etwas** と **groß** などが結びつくと **etwas** の s に合わせて語尾に s ができます。

**5 レジはどこですか。 Wo ist die Kasse ?**

**Kasse** は大学の会計課, 銀行の現金支払い窓口など, お金の出し入れに関係するところを示します。

**6 いくらですか。 Was kostet das ?**

ここでの **das** は定冠詞ではなく, 指示代名詞の1格で, それはの意味です。**kosten** という動詞はこの場合自動詞で, 値段がいくらという意味になります。 **was** のかわりに **Wieviel** (いくつ) が使われることもあります。

こうした質問には, たとえば,

**Fünfzehn Mark und sechzig Pfennig.** (15マルク60ペ

フュンフツェーン マルク ウント ゼヒツィヒ ブフェニッヒ

ニヒです) と答えますが、通常は **Pfennig** は省略されます。

## 7

VISA カードで支払えますか。

**Könnte ich mit VISA-Karte bezahlen?**

ケンテ イッヒ ミット ヴィザ カルテ ベツアーレン

**könnte** は160ページの 2 と同じく接続法II式、ていねいな表現です。 **bezahlen** (～を支払う) は4格支配の動詞。レストランで「お勘定をお願いします」と言うときは、**zahlen** を使って **Zahlen bitte** と言うか、**Rechnung bitte** と言います。ただ注意したいのは、**Rechnung** (計算書、勘定書) は比較的高額なものの場合に使うということです。

## 8

すみません。袋をください。 **Eine Tüte bitte.**

アイネ テューテ ピッテ

レジでの表現で、**Tüte** (女性名詞) はナイロンや紙の袋のことです。袋をもらうには10ペニヒくらい払わなければなりません。物を無駄にしないドイツ人独特の配慮からでしょうか。

※なお、4の *etwas* は別売のカセットテープではとれております。



## ホテルのフロントで

1 部屋はまだありますか。

**Hätten Sie noch ein Zimmer frei ?**

ヘッテン ズイー ノッホ アイン ツインマア フライ

**hätten**は**haben**（持つ）のていねいな表現です。部屋は  
ヘッテン ハーベン  
**Zimmer**（中性名詞）, **frei**は空いている, です。席やトイレ  
ツインマア フライ  
の空きも**frei**です。反対語は**besetzt**（ふさがっている）  
フライ ベゼツト  
になります。

2 1人部屋で、バスつきがよいのですが。

**Ich möchte ein Einzelzimmer mit Bad.**

イッヒ メヒテ アイン アインツェルツインマア ミット バート

**ein Einzelzimmer**は1人部屋を1つ, 中性名詞の4格  
アイン アインツェルツインマア  
です。**Bad**は(中性名詞)バスのことです。この場合は**mit**  
バート ミット  
のあとなので3格になっていますが, 冠詞は使いません。  
この表現に類するものに

3 シャワーフルの部屋

**ein Zimmer mit Dusche.**

アイン ツインマア ミット ドゥーケ

があります。

4 その部屋は朝食つきでいくらですか。

**Was kostet das Zimmer mit Frühstück ?**

ヴァス コステット グス ツインマア ミット フリューシュテック

「いくらですか」はWas kostet?でした。それならば, な  
ヴァス コステット

ぜここで**das Zimmer**として定冠詞**das**がついているのでしょうか。それは、話し手と聞き手の間に、その部屋という特定の認識ができているからです。どれでもよいから部屋を1つ、の場合には不定冠詞の**ein**をつけます。**朝食**のことは**Frühstück**といいます。

## 5

チェックアウトは何時ですか。

**Bis wann muß ich das Zimmer**

**freimachen ?**

**Bis wann**は「いつまでに」の意味。英語のチェックイン、チェックアウトをそのまま使う人もいます。

このハガキを日本に出したいのですが。

## 6

**Ich möchte diese Postkarte nach Japan**

**schicken.**

**Ich möchte**は「私は～したい」の意味の表現で、非常に頻繁に使われる言葉です。**Postkarte**はハガキで、

**Ansichtskarte**は絵ハガキです。そのほか、**Brief**（手紙）や**Paket**（小包）もおぼえておくと便利な言葉でしょう。

**schicken**は送る、発送するの単語です。

# 7

日本円をドイツマルクに両替していただけますか。

**Könnten Sie Yen in D-Mark wechseln ?**

ケンテン ズィー イエン イン デー マルク ヴェクセルン

この表現で大切なのは**wechseln** (換える, 交換する) という動詞です。このひと言を言っただけで相手に意図が伝わる場合もあります。両替所は**Wechsel** (男性名詞)。お金は駅や銀行の**Kasse** (勘定場・女性名詞) で交換してくれますが、ホテルのフロントでももちろん大丈夫です。



## ビジネス上の表現

商用でハンブルクに行くところです。

1

Ich bin auf einer Geschäftsreise nach  
イッヒ ピン アオフ アイナア ゲシェフツライゼ ナーハ

Hamburg.  
ハムブルク

これまでに何度も出てきましたが、**auf**は前置詞で英語  
アオフ  
で言えば on にあたります。**Geschäftsreise**は商用の旅で  
ゲシェフツライゼ  
す。女性名詞の 3 格になっています。

ミュラー氏にお会いしたいのですが。

2

Ich hätte gern mit Herrn Müller  
イッヒ ハッテ ゲルン ミット ヘルン ミュラー

gesprochen.  
ゲシュプロッヒエン

**hätte～gesprochen**は149ページのIch möchte das. の  
ヘッテ ゲシュプロッヒエン イッヒ メヒテ ダス  
文章で説明したように接続法II式を使ったていねいな表現。

ミュラー氏はHerr Müllerですが、**mit**のあとは 3 格で  
ヘーア ミュラー ミット  
**Herrn Müller**となります。  
ヘルン ミュラー

# 3

今日、午前10時にお会いできるアポイントメントをいただいてあります。

**Heute morgen um 10(Uhr) haben wir einen Termin.**

ホイテ モルゲン ウム ツエーン(ウア) ハーベン ヴィーア

アイネン テルミーン

**heute**は副詞で**今日**、**einen Termin**は会う日時の約束、  
アポイントメントのことで、男性名詞の4格です。**um**は時間の前につく前置詞です。

**Heute** 以下が文頭にきているので、**wir haben**が入れ替わっています。

会話は、実際に口に出して言えるようになることが必要です。何回も繰り返し文章を読み力セットを聞いて、暗記するようにしましょう。つぎは、ドイツ語の文の意味を読みとる力を養う章です。



# 5

## やさしい文章に挑戦しよう

外国語は耳で聞いてわかり、口に出すことができ、読んでわかることが必要です。つまり、*hören*（聞く）と *sprechen*（話す）と *lesen*（読む）の3要素が必要不可欠なのです。

この章の文の意味が理解できたら、カセットで聞いてその意味がわかるかどうか、試してみましょう。はじめはまったく聞き取れなくても、練習を繰り返すうちに必ず上達します。

それぞれに文法的な説明も加えてあります。必要に応じて億劫がらずに3章「文法の基礎を身につけよう」を参照しましょう。外国語習得のコツは一にも二にも反復練習です。

この最後の章では、短いドイツ語の文章を読んでいきます。発音から始まって、文法から会話まで読んでこられたみなさんの頭には、ドイツ語に対するアンテナがしっかりと備わっているはずです。しかし、いくら *haben* や *sein* の変化をおぼえたからといって、すぐに文章が読めるわけではありません。たとえばつぎの文を見てください。

Der junge Kellner hat eine schwere Arbeit.

その若いボーイは1つの辛い仕事を持っている。

動詞のほかに冠詞や形容詞の変化にも慣れていないと、こんなに短い文章でも意味をつかむことはできません。

また、文法の知識をたくわえれば済むというものでもありません。つぎの文は **Hier** や **dort** を副詞であると識別する能力よりも、**Theater** が英語の *theater*(-tre)であり、**Telefon** が英語の *telephone* であると気づく勘のほうが大切です。

Hier ist das Theater; dort ist das Telefon.

ここにその劇場があり、あそこにその電話がある。

さらに、こうした勘を養うほかに、何よりも肝腎なことは、文章をたくさん読む心がけです。ある程度継続的に学習して、この章のドイツ語がすべてわかるレベルに早く達

するよう、がんばってください。

彼は日本人ですか。

Ist er Japaner?  
イスト エア ヤバーナア

はい、彼は日本人です。

Ja, er ist Japaner.  
ヤー エア イスト ヤバーナア

いいえ、彼は日本人ではありません。

Nein, er ist kein Japaner.  
ナイン エア イスト カイン ヤバーナア

**ist** は **sein** (である) の変化形です。

いま彼はドイツ語を学んでいます。あなたもドイツ語を学んでいますか。

Jetzt lernt er Deutsch. Lernen Sie auch Deutsch?  
イエツツト レルント エア ドイチュ レルネン ズイー アオホ ドイチュ

いいえ、私はドイツ語ではなくてフランス語を学んでいます。

Nein, ich lerne kein Deutsch, sondern Französisch.  
ナイン イッヒ レルネ カイン ドイチュ ゾンダーン フランツエーズィッシュ

**jetzt** は「いま」、**kein～sondern** は「～でなくて～である」です。

**auch** は「～も」。

**lernen** は、**ich lerne, wir · Sie lernen, er lernt** の語尾変化をしましたね。

すばらしいクリスマスと幸福な新年を。

Schöne Weihnachten und ein glückliches Neues  
シェーネ ヴァイナハテン ウント アイン グリュックリッヒエス ノイエス

Jahr.  
ヤール

**schön** は「美しい、 すばらしい」(形容詞)。

**Weihnachten** は「クリスマス」(名詞、複数)。

**und** は「そして」(英・ and) という意味です。

**ein glückliches Neues Jahr** (英・ a happy new year,  
「ひとつの・ 幸福な・ 新しい・ 年」) です。

**Jahr** (年) は中性名詞・ 单数, 4格 (「～を」) になります。

形容詞の **glückliches** と **Neues** の-s は, 定冠詞 **das** の-s で, これは形容詞の混合変化です。

よい本はよい友である。

Ein gutes Buch ist ein guter Freund.  
アイン グーテス ブーフ イスト アイン グータア フロイント

**gutes** が形容詞の中性の混合変化で, **guter** が形容詞の  
男性の混合変化です。

その年老いたヘルガ嬢は少し近視です。彼女は古い物にた  
いしてある偏愛を持っていて, 古い絵画あるいは古い陶器  
を集めています。

Das alte Fräulein Helga (Frau Helga) ist etwas  
ダス アルテ フロイライン ヘルガ フラオ ヘルガ イスト エトヴァス  
kurzsichtig. Sie hat eine Vorliebe für alte Dinge  
クルツィヒティヒ ズイー ハット アイネ フォーアリーベ フューア アルテ ティング  
und sammelt alte Bilder oder altes Porzellan.  
ウント ザンメルト アルテ ビルダア オーダア アルテス ポルツェラーン

この文章の中には、動詞が **ist**, **hat**, **sammelt** と 3 つあります。これらの動詞の不定詞はそれぞれ **sein** (である), **haben** (持つ), **sammeln** (集める) です。

**kurzsichtig** (近視の) の **kurz** は「近い, 短い」で, **sichtig** は **Sicht** (眺め, 視度) の形容詞です。

**Vorliebe** (偏愛) の **Liebe** は, 「愛」です。

スイス人はたいてい, ドイツ語だけでなくフランス語も話します。

Die Schweizer sprechen nicht nur  
ディー シュヴァイツァー シュブレッヒエン ニヒト ヌーア

Deutsch sondern auch Französisch.  
ドイチュ ソンダアン アオホ フランツェーズイッシュ

**Schweiz** (スイス) は女性名詞の单数。-er がついた **Schweizer** (スイス人) は, 单数も複数も同じ形で, 男性名詞です。der でなく die がつき, **spricht** でなく **sprechen** が用いられているので, ここでは「スイス人たち」(複数) の意味になります。

nicht nur～sondern の **nur** は「だけ」(英・only) の意味です。 **sondern** はさきに Ich lerne kein Deutsch, sondern Französisch. という形で出てきました。

**Deutsch** と **Französisch** は「ドイツ語とフランス語」,  
**Japanisch** と **Italienisch** は「日本語とイタリア語」です。

お邪魔になりますか。

Stört es Sie ?  
シュテーアト エス ズイー

いいえ、ぜんぜん邪魔ではありません。

Nein, es stört mich gar nichts.  
ナイイン エス シュテーアト ミッヒ ガール ニヒツ

**stören** (→ stört) という動詞は、「邪魔をする、妨げる」という意味です。目的語は4格 (「～を」) をとります。

上の文は、es が主語で、Sie (あなたを) は **stören** の目的語になっています。

gar は「まったく」。nichts は副詞の nicht よりも強い意味で、不定代名詞です。直訳すれば、「いいえ、それはまったく私を邪魔しません」になります。

私のクラスに今週新しい先生が来ます。彼女はたいへん若く、青い目をしています。女子生徒は彼女を非常にかわいいと思っており、男子生徒もそうです。

Meine Klasse hat diese Woche eine neue Lehrerin :  
マイネ クラッセ ハット ディーゼ ヴォッヘ アイネ ノイエ レーレリン

sie ist sehr jung und hat blaue Augen. Die  
ズイー イスト ゼーア ユング ウント ハット ブラオエ アオゲン ディー

Schülerinnen finden sie sehr hübsch, die Schüler  
シューレリンネン フィンデン ズイー ゼーア ヒュップシュ ディー シューラア

auch !  
アオホ

**diese Woche** は「今週」(英・this week) の意味。

**Lehrerin** は「女の先生」で, **Lehrer** が「男の先生」, **lehren** は「教える」です。(Lehren ist Lernen. は「教えること レーレン イスト レアネン は学ぶことである」になります。)

**Augen** (目) は Auge の複数形。目や口や鼻や手といった身体に関する単語は, 56ページに載っています。

**Schüler・Schülerin** が「男子生徒・女子生徒」の単数形で, 複数形は **Schüler・Schülerinnen** になります。

毎日曜日の11時にブラウン氏は彼の庭へ行き, その芝の上の青い椅子に座ります。

Jeden Sonntag um elf Uhr geht Herr Braun in seinen  
イエーデン ゾンターグ ウム エルフ ウーア ゲート ヘア ブラウン イン ザイネン

Garten und sitzt in seinem blauen Stuhl auf dem  
ガルテン ウント ズイツット イン ザイネム ブラオエン シュトゥール アオフ デム

Rasen.  
ラーゼン

**Jeden Sonntag** (毎日曜日) は, 英語の every Sunday にあたります。

**um elf Uhr** (英・at eleven o'clock) の **Uhr** は, 「時計, 時刻」で, **um** は「～(時) に」の意味です。

**sein** (英・his, its) を **mein** (英・my) や **dein** (英・your) と **ihr** (英・her, their) を **Ihr** (英・あなたの・your) と, **unser** (英・our) を **euer** (英・君たちの・your) といっしょにしておぼえましょう。sein や mein には不定冠詞や複数語尾がつきます。

**geht** (← gehen, 行く) と **sitzt** (← sitzen, 座る) がこの文の動詞です。

geht (行く) とこの場合の sitzt (座る) は移動を示すので、4格を伴います。

今日は、市場では何があるのですか。

**Was gibt es heute auf dem Markt?**  
ヴァス キープト エス ホイテ アオフ テム マルクト

日本語の「～があります」にあたるのが、この非人称動詞の用法 **es gibt** の表現です。

**gibt** は **geben** (与える) が人称変化した、動詞の定形です。

**Was gibt es** の直訳は、「それが何を与えますか」になります。Was はここでは **geben** (～を与える) の目的語となり、「何を」という意味を持ちます (was は4格です)。この文章において was は意味上の主語になっています。

**Was gibt es denn?** は、よく用いられる表現です。「いつたい、どうしたのですか」と訳します。また、「今晚、コンサートがあります」は、つぎのように言います。

**Heute Abend gibt es ein Konzert.**  
ホイテ アーベント キープト エス アイン コンツェアト

私たちはすでに300のドイツ語の単語を知っています。それを使って、ひとはたくさんのことと述べることができます。けれども、私たちはすべてのことを述べる(する)ことはできません。

Wir kennen schon drehundert deutsche Wörter.  
ヴィーア ケネン ショーン ドゥライフンデアト ドイチエ ヴェルタア

Damit kann man viele Sachen beschreiben. Aber  
ダミット カン フィーレ ザッヘン ベシュライベン アーバア

wir können damit nicht alles machen.  
ヴィーア ケンネン ダミット ニヒト アレス マッヘン

**kennen** は「(人を) 知っている」という動詞です。

**schon** は「すでに」。

**drehundert deutsche Wörter** は、「300のドイツ語の単語 (单数形→Wort)」です。

**damit** は「それをもって」。この場合は **da** は「300のドイツ語の単語」を指し、**mit** は英語で言えば with です。この場合、with them に置きかえることができます。

**kann man viele Sachen beschreiben** は、英語の (語順をドイツ語にそろえれば) can one many things describe (ひとは多くのことを述べることができる) にあたります。

**können** は「できる」で、「する (ことが)」の意味である **machen** につづきます。

**machen** は、英語の do, make です。

**nicht alles** は英語の not everything, つまり「すべてのことを述べる (する) ことはできない」という部分否定です。

以前はそこに何が建っていたんですか？

Was stand da früher ?  
ヴァス シュタント ダー ブリューアア

以前はそこに城が建っていました。

Früher stand da ein Schloß.  
ブリューアア シュタント ダー アイン シュロス

**Was** はこの場合、「何が」 という主語になります。

**stand** は、**stehen** (シュテーエン・立っている) の過去形です。

**da** は「そこに」 です。 **hier** (ヒーア・ここに) といっしょに、**hier und da** (英・here and there) 「あちこちで」 という句をつくります。

**früher** は「以前は」 という副詞、あるいは「より早い」 という形容詞になり、**früh** (早い) という語の比較級です。

**ein Schloß** は、「ひとつの城」 で、中性名詞です。

以上は単数形についての説明です。

クラウスはサラリーマンです。彼は銀行員として(銀行で) 働いています。学生時代には経済学を学びました。

Klaus ist Angestellter. Er arbeitet in einer  
クラオス イスト アンゲシュテルタ  
エア アルバイテット イン アイナア

Bank. In der Schulzeit hat er  
バンク イン デア シュールツァイト ハット エア

Wirtschaftslehre gelernt.  
ヴィルトシャフツレーレ ゲルント

**Angestellter** (サラリーマン) のような職業を示す語や、

**Student** (学生) のように、身分を示す語には、冠詞がつかないきまりです。

この文章の動詞は **ist** (である), **arbeitet** (働く), **hat gelernt** (勉強した) です。「勉強した」は「haben + 過去分詞」ですから、現在完了形です。

**Wirtschaft** には、「経済、経営」という意味があり、それに「～の」という意味で-s がついて **Wirtschafts** となり、さらに **Lehre** (教義、学説) がついて「経済学」という意味になります。「社会学」は-lehre のつかない **Soziologie** (ゾツィオロギー) です。

**Bankbeamter** (銀行員), **Beamte** (職員) を使う場合もあります。**Schulzeit** は **Schule** (学校) + **Zeit** (時代) です。

工業技術は人間をこの地球の主人にしましたが、それは人間（←彼）を機械の奴隸にもしたのです。

Die Technik machte den Menschen zum Herrn der  
ディー テヒニク マハテ デン メンシェン ツム ヘルン デア

Erde, aber sie machte ihn auch zum Sklaven der  
エールデ アーバア スイー マハテ イーン アオホ ツム スクラーヴェン デア

Maschine.  
マシーネ

**Technik** は「工業技術」(英・technique でなく technology)。

**machte** は「つくる (machen・マッヘン)」の過去形です。動詞には **geben** (与える) → **gab** (与える) のよう

に、語幹の綴りが変化するものと、この **machte** のように語尾に **-te** がつくものとがあります。**haben** (持つ) も **hatte** と変わります。

**machte den Menschen zum Herrn der Erde** は、「人間 (Menschen) をこの地球 (Erde) の主人 (Herrn) にした。」**zum** は **zu dem** (英・to the)。

**auch** は「～も、もまた」(英・also) です。

あなたがドイツにいたときに、何を (あなたは) 研究されましたか。

**Was haben Sie studiert, als Sie in Deutschland**  
ヴァス ハーベン ズイー シュトディーアト アルス ズイー イン ドイチュラント

**waren?**  
ヴァーレン

**Sie** (大文字) は「あなた (がた)」、**sie** (小文字) は「彼女・彼 (女) ら・それら」です。

**haben studiert** は「学んだ」(現在完了・haben+過去分詞)。

**als** は「～の時」で、過去形を導きます。現在形を導くときは **wenn**。

**waren** は、**sein** (である) の過去形です。副文内ですので、文の最後にきました。「私 (ich)」のときは **war** となります。

テロリストたちがフランクフルトを爆撃した。ドイツマルクがふたたび値上がりした。

Terroristen haben in Frankfurt ein Bombenattentat  
テロリストン ハーベン イン フランクフルト アイン ボムベンアッテンタート

verübt. Die D-Mark ist wieder einmal gestiegen.  
フェアユーブト ディー デー・マルク イスト ヴィーグア アインマール ゲシュティーゲン

**Terroristen** は **Terrorist** の複数形です。 **Terror** (テロ  
ル・恐怖) に-ist がついた語です。

**haben verübt** は、現在完了形。

**ein** は「1回の～を」(4格) という意味です。

**ist gestiegen** (← steigen・登る, 物価が高まる) は,  
「移動を表す自動詞」の現在完了形ですので, **haben** ではなく  
く **ist** (← sein) が用いられています。

誰といつしょに行つたのですか。

**Mit wem** sind Sie gegangen?  
ミット ヴェーム ジント ズイー ゲガングン

**mit wem** は、英語の with whom です。 **wer** (誰か, 1  
格) は **wessen** (2格)・**wem** (3格)・**wen** (4格) と格  
変化します。

**gegangen** は「行く」(gehen・ゲーエン) の過去分詞で  
す。「行く」「来る」「乗物で行く (fahren)」などの「移動  
を表す自動詞」は、sein で完了形をつくります。

彼は来年イススヘ行くでしょう。

**Nächstes Jahr** wird er in die Schweiz fahren.  
ネーヒステス ヤール ヴィルト エア イン ディー シュヴァイツ ファーレン

**nächst** は、「もっとも近い」です。「今年」は **dieses Jahr**

(この・年), 「去年」は **letztes Jahr** (この前の・年) です。

**wird** は未来形の助動詞です。**werde**・**wirst**・**wird**・**werden**・**werdet**・**werden** と人称変化します。

明日には私の手紙は、おじのもとに届いているでしょう。

Morgen wird mein Brief bei meinem Onkel sein.  
モルゲン ヴィルト マイン ブリーフ バイ マイネム オンケル ザイン

**wird**～**sein** は、英語で言えば **will be** になります。

bei meinem Onkel は、bei (のそばに、3格支配の前置詞) + 「私のおじ」です。

**mein Brief** は、「私の手紙」で、この文章の主語です。

私がようやく駅についたときには、汽車はもう出てしまっていました。

Der Zug war schon abgefahren, als ich endlich am  
デア ツーグ ヴァール ショーン アップグファーレン アルス イッヒ エントリヒ アム  
Bahnhof ankam.  
バーンホーフ アンカーム

上の文の **war abgefahren** は「(sein の) 過去 + (abfahren の) 過去分詞」で、過去完了形です。2つの「時」の前後関係を表す手法で、英語の場合と同じです。

**abfahren** は、「発車する」の意味。

**ankam** は、**ankommen** (着く) の過去形です。

**endlich** は、**Ende** (終わり) という名詞に-lich がついて、「ようやく、やっと」という意味の副詞になったもので

す。「有限の」という形容詞にもなります。

**am** は92ページでみたように, **an dem** (英・to the) が詰まったものです。

**Zug** は「汽車」です。

**Bahnhof** は「駅」を示す言葉。「駅」については **Station** (シュタツィオーン・停車場) という語もあります。これは英語と同じスペルです。

生きているすべてのものは、一度は死ななければなりません。

**Alles, was lebt, muß einmal sterben.**

アレス ヴァス レーブト ムス アインマール シュテルベン

形容詞の **all** (=英・all, すべての) は **aller**・**alle**・**alles** (男性・女性・中性) の形を持ちますが、この文の **Alles** は形容詞の **alles** が名詞化したものです。

**was** は, **Was ist das?** (これは何ですか) というように用いられるほかに、この文のように関係代名詞としても用いられます。104ページで学んだようにこれは不定関係代名詞でしたね。

**lebt** は **er lebt** (← **leben**・生きている) と同じ変化で、**sterben** (死ぬ) は助動詞 **muß** (**müssen** が変化したもの) があるために、不定詞になっています。

この小説は英語で書かれ、ドイツで出版されました。

Dieser Roman ist in England geschrieben und in  
ティーザー ロマーン イスト イン エングラント ゲシュリーベン ウント イン

Deutschland veröffentlicht worden.  
ドイチュラント フェアエッフェントリヒト ヴォルデン

**geschrieben** は schreiben(書く)の, **veröffentlicht** は veröffentlichten(出版する)の過去分詞です。

この文の最初の動詞である **ist geschrieben** は, **veröffentlicht** と同じように「werden+過去分詞」の受動態が sein 動詞と結びついて現在完了形をつくっています。そのとき, werdenの過去分詞 geworden は **worden** となります。**werden** はまた, 定動詞と結びついて未来形もつくります。

妻が重く病んでいる(重い病気である)その男は、彼女を病院に訪ねます。

Der Mann, dessen Frau schwer krank ist, besucht  
デア マン デッセン フラオ シュヴェーア クランク イスト ベズーフト  
sie im Krankenhaus.  
ズィー イム クランケンハウス

**dessen** は関係代名詞であり, 2格です。 **der · des · dem · den** は定冠詞ですが, 2格以外は関係代名詞にもなって, 定関係代名詞と呼ばれ, 発音も変わります。

定関係代名詞の **der · dessen · dem · den** は デーア · デッセン · デーム · デーン と のばして発音します。

**im** は **in dem** が詰まったものです。

上の文を英語に直訳すると, つぎのようになります。

The man, whose wife is heavily ill, visits her in the hospital.

彼は毎朝窓を開けます。私は彼が毎朝窓を開けることを知っています。

Er macht jeden Morgen das Fenster auf. Ich weiß,  
エア マハト イエーデン モルゲン ダス フェンスター アオフ イッヒ ヴァイス

daß er jeden Morgen das Fenster aufmacht.  
ダス エア イエーデン モルゲン ダス フェンスター アオフマハト

**jeden Morgen** は「毎朝」(英・every morning)。jeden は **jeder** の4格です。

**Er macht~auf** は、分離動詞です。つぎに出てくる **auf-macht** は、副文 (daß に導かれる文) であるために、分離しないで文末に後置されます。

**aufmachen** は「開ける」, auf は「の上に」, machen は「する, つくる」です。「auf+動詞」の形はこのほかにもたくさんあります。

**weiß** は、wissen (知る) が変化したものです。

どうぞ私に紅茶を1杯もってきてください。

Bringen Sie mir bitte eine Tasse Tee!  
ブリッジン ズイー ミー・ア ピッテ アイネ タッセ テー

上の文の動詞 **Bringen** は、**Sie** (敬称の「あなた」) に対するていねいな命令です。Sie が用いられるのがドイツ語の特徴で、これを下のように英語に置きかえた場合、Sie (you) はいりません。

Bring to me (ich → mir) please a cup of tea !

ではつぎに, du (君) に対する命令形を説明します。

私に紅茶を1杯もってこい !

Bringe (Bring) mir eine Tasse Tee !

ブリング

ブリング

ミー

アイネ

タッセ

テー

Bringe は, ich bringe · du bringst · er bringt と変化するべきところを, du bringst → du bringe と変えられています。これで du (君) に対する命令形になります。

Sie に対して	du に対して	ihr に対して
-en Sie !	-e !	-t !

命令形には, Sie (あなた・あなたたち) と du (君) に対する形と, ihr (君たち) に対する形があります。語尾を表にすると, 上のようになります。各々感嘆符がつきます。

lernen (学ぶ)	lernen Sie !	lerne !	lernt !
kommen (来る)	kommen Sie !	komm !	kommt !
sprechen (話す)	sprechen Sie !	sprich !	spricht !

kommen が du に対して用いられると, komme → komm となり, sprechen は sprech ではなくて sprich になります。というのも, ich spreche · du sprichst (e → i · er spricht (e → i) と変化するからです。

つぎのハンブルク行きの汽車がいつ発車するのか、知りたいのです。

Ich möchte wissen, wann der nächste Zug nach  
イッヒ メヒテ ヴィッセン ヴァン デア ネーヒステ ツーグ ナーハ

Hamburg abfährt.  
ハンブルク アップフェーアト

**möchte** の不定詞は **mögen** (メーゲン・好む) です。ich  
mag · du magst · er mag と変化します。

ところが、上の文は ich mag → ich möchte という、過去形の ich mochte (私は好んだ) が変音した形をとっています。ich **möchte** は接続法II式でしたね。

	現在	過去	接続法II式
ich	mag	mochte	möchte

接続法には間接話法のときに用いられるI式と、「事実ではなく願望や可能性としての、可能性が少ないというニュアンス」の、「できれば～したい」という言い方のII式とがあります。

I式は (ich mag · du magst · er mag は同じですが), ich komme · du kommst · er komme というように **er** の動詞が変わります。

会話では接続法II式が、頻繁に用いられます。

現在	過去	接続法 II
haben(持つ)	hatte	hätte
sein(ある)	war	wäre
werden(なる)	wurde	würde

**Ich möchte wissen** には「できれば知りたいのですが」という遠慮の気持ちを示す「～知りたいのです」という日本語訳があてられます。

これは英語の I would like to know (I want to know ではない) に相当します。

**Zug nach Hamburg** は、「ハンブルク行き（に向かう）汽車」です。

**abfrt** は「発車する」です。ab・fahren の fahren は「乗物で行く」を意味し, ich fahre · du frst · er frt と変化します。

**wann~abfrt** は, wann (いつ?) に導かれる文のなかの動詞の abfrt が, 主たる動詞(主たる動詞は möchte wissen) でないために, 文末に来ています。

なお, 接続法 II 式の表現には, 現実とは相反する非現実話法もあります。たとえば, つぎのような言い方です

**Sonst htte ich gerne gekauft.**  
ゾンスト ヘッテ イッヒ ゲルネ ゲカオフト

そうでなければ喜んでそれを買ったのですが (→実際には

買っていない)

これでいかがでしょうか。

Wie wäre es?

ヴィー ヴェーレ エス

今度の金曜日ではいかがでしょうか。

Wie wäre es mit dem kommenden Freitag?

ヴィー ヴェーレ エス ミット デム コメンデン フライターグ

これも接続法II式が用いられている文です。Wie wäre es? は、Wie ist es? (それはどのようであるか) を接続法にした文です。

**kommenden Freitag** の kommenden は、kommen の現在分詞である kommend に、語尾の-en がついたもので、不定詞に -d をつけると、現在分詞ができます。

kommen	過去分詞	現在分詞
来る	gekommen	kommend

英語の come・came・come の 3 つ目の come にあたるのが gekommen であり、coming (きたるべき) にあたるのが kommend です。上の Freitag は「金曜日」ですから、「きたるべき金曜日→今度の金曜日」となるわけです。

**mit** は、Wie wäre es のつぎに、「～がどうであるか」を導いて、習慣的に用いられる言葉です。

これがいいです。

Das gefällt mir.  
ダス ゲフェルト ミーア

非常に楽しかつたです。

Das hat mir sehr gefallen.  
ダス ハット ミーア ゼーア ゲファレン

Das gefällt mir. という現在形の文を現在完了に直し sehr (非常に) をつけると Das hat mir sehr gefallen. という文章になります。

「これがいいです」は店頭などで使われるせりふであり、「非常に楽しかつたです」はパーティーに行ったりしたときに使われるせりふです。

**gefällt** (現在) も **gefallen** (過去分詞) も、「(あるものが) 気に入る」という意味の **gefallen** (不定詞と過去分詞が同形) の変化です。人の3格 (～に) を導く動詞です。

日本語で「私は気に入る」と言うのを、ドイツ語では「それが (es) 私に (mir ← ich) 気に入る (gefällt)」と言います。「(あなたの) 気に入りましたか」は **Gefällt es Ihnen ?** (Ihnen は Sie の3格) と言います。

**hat～gefallen** は「haben + 過去分詞」= 現在完了形です。

## 〔著者紹介〕

岩井 清治(いわい きよはる)

1942年、長野県に生まれる。明治大学大学院商学研究科博士課程修了。1972年から3年間にわたって西ドイツに留学。フライブルク大学で学ぶ。また、1985年には文部省短期在学研修員として再度ドイツ留学。現在、桜美林大学経済学部教授(商業史、経営史)、桜美林短期大学非常勤講師(ドイツ語)。主な著書に『西ヨーロッパ貿易風土論』(白桃書房)がある。

中野 久夫(なかの ひさお)

1929年、長野県に生まれる。信州大学工学部前身の長野工業専門学校2年修了、早稲田大学文学部卒業。外国語と精神分析学に興味を持つ。訳書に『ドラクーリデス・芸術家と作品の精神分析』(岩崎学術出版社)など、著書に『フランス語が面白いほど身につく本』(中経出版)、『英独仏露語入門』(駿河台出版社)、『芸術心理学入門』(造形社)、『現代マンガの心的世界』(新評社)、『日本歴史の精神分析』(時事通信社)などがある。現在は評論活動のほか、桜美林大学でフランス語、多摩美術大学で英語の講師を務める。

## ドイツ語が面白いほど身につく本

〈検印省略〉

---

1992年9月24日 第1刷発行

1993年6月15日 第2刷発行

---

著 者 岩井 清治 中野 久夫

発行者 杉本 慎

---

〒102

発行所 (株)中経出版 東京都千代田区麹町3の2 相互麹町第一ビル

電話 03(3264)2771 (営業代表)

03(3262)2124 (編集代表)

FAX 03(3262)6855 振替 東京1-86836

---

乱丁本・落丁本はお取替えします。

本文写植版下／フォレスト 印刷／恵友社 製本／三森製本所

---

© 1992 Kiyoharu Iwai, Hisao Nakano, Printed in Japan.

ISBN4-8061-0620-8 C0084



### 〔著者紹介〕

岩井 清治(いわい きよはる)  
1942年、長野県に生まれる。明治大学大学院商学研究科博士課程修了。1972年から3年間にわたり西ドイツに留学。フライブルク大学で学ぶ。また、1985年には文部省短期在学研修員として再度ドイツ留学。現在、桜美林大学経済学部教授(商業史、経営史)、桜美林短期大学非常勤講師(ドイツ語)。主な著書に『西ヨーロッパ貿易風土論』(白桃書房)がある。

中野 久夫(なかの ひさお)

1929年、長野県に生まれる。信州大学工学部前身の長野工業専門学校2年修了、早稲田大学文学部卒業。外国語と精神分析学に興味を持つ。訳書に『ドラクーリデス・芸術家と作品の精神分析』(岩崎学術出版社)など、著書に『フランス語が面白いほど身につく本』(中経出版)、『英独仏露語入門』(駿河台出版社)、『芸術心理学入門』(造形社)、『現代マンガの心的世界』(新評社)、『日本歴史の精神分析』(時事通信社)などがある。現在は評論活動のほか、桜美林大学でフランス語、多摩美術大学で英語の講師を務める。

## ドイツ語が面白いほど身につく本

〈検印省略〉

---

1992年9月24日 第1刷発行

1993年6月15日 第2刷発行

---

著者 岩井 清治 中野 久夫

発行者 杉本 悅

---

〒102

発行所 (株)中経出版 東京都千代田区麹町3の2 相互麹町第一ビル

電話 03(3264)2771 (営業代表)

03(3262)2124 (編集代表)

FAX 03(3262)6855 振替 東京1-86836

---

乱丁本・落丁本はお取替えします。

本文写植版下／フォレスト 印刷／恵友社 製本／三森製本所

---

© 1992 Kiyoharu Iwai, Hisao Nakano, Printed in Japan.  
ISBN4-8061-0620-8 C0084

## 韓国語が面白いほど身につく本

コツさえわかれば、日本人にとって韓国語ほどやさしい言葉はない。日本人向けの韓国語教育で驚異の実績を上げる筆者が、最良の学習法で最短コースを教える本。〈カセット別売〉

韓 誠著 四六判／定価1000円

## フランス語が面白いほど身につく本

世界でも有数の美しい言葉といわれるフランス語を、初歩から抵抗なく身につけられるように、単語から会話までやさしく丁寧に指導。気軽に楽しくフランス語の基本がマスターできる。〈カセット別売〉

中野久夫著 四六判／定価1000円

## スペイン語が面白いほど身につく本

今人気の、スペイン語の基本文法から日常会話までを丁寧に解説。読書する感覚で読み進めていくうちに、自然にスペイン語が身につく。辞書がわりに使える「ミニ表現辞典」付き。〈カセット別売〉

中山直次著 四六判／定価1200円

## 英語は3秒で話せ！

国際企業ソニーが開発した英会話学習法に基づき、旅行や海外出張でよく使われる350のフレーズを紹介。いずれも「3秒」で話せる簡単なフレーズだが、これさえ覚えれば日常会話はもう大丈夫。

ソニー(株)教育事業室著 四六判／定価1100円

## 英語の基本が面白いほど覚えられる本

英語に关心はあるが自信がないという人のために、英語の基本を1日1回21日間にわたってレッスンする本。受験への対応に追われて曖昧になってしまったままの基本ルールが身につく。〈カセット別売〉

田中建彦著 四六判／定価1200円

(いずれも消費税込み)







